

「国語総合」 1 学年 年間学習指導計画

教科	国語	科目	国語総合	単位	4 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
------	--

教科書	東京書籍「新編国語総合」(国総 3 3 2)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間 12 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	随想 1
提出期限 6 月 15 日	概要	海流 ミクロネシア/ルリボシカミキリの青/気になる言い方① ・筆者の考えについて自分の理解を深める。 ・筆者の熱中したことを表現に即して捉え、理解する。
第 2 回	単元名	小説 1
提出期限 6 月 15 日	概要	とんかつ/ドライ・クリーニング/気になる言い方② ・表現の特色に注意しながら小説を読み、小説に親しもう。 ・登場人物のおかれた境遇に注意しながら、その心情を読み取ろう。
第 3 回	単元名	評論 1
提出期限 7 月 15 日	概要	無彩の色/未来をつくる想像力/評論の読み方 ・評論を読んでその内容を的確に理解し、筆者の考えを読み取ろう。 ・現代の社会におけるさまざまな問題点について考えよう。
第 4 回	単元名	詩
提出期限 7 月 15 日	概要	空をかついで/二十億光年の孤独/冬が来た/詩の読み方 ・詩に親しみ、詩を深く味わう力を養おう。 ・比喩表現や、言葉のリズムのおもしろさを味わおう。
第 5 回	単元名	小説 2
提出期限 8 月 15 日	概要	羅生門/ほおずきの花束/小説の読み方 ・小説に描かれている登場人物の心情や、情景などを、読み味わおう。 ・場面の展開に即して、登場人物の心情の変化について考えよう。
第 6 回	単元名	随想 2
提出期限 8 月 15 日	概要	待つということ/里山物語/りんごのほっぺ/随想の読み方 ・個性的なものの見方や感じ方に触れ、豊かな感受性を養おう。 ・社会や自然の中で生きる人間についての理解を深めよう。
第 7 回	単元名	短歌・俳句 珠玉のうた
提出期限 9 月 15 日	概要	その子二十【短歌】/春風や【俳句】/短歌の読み方/俳句の読み方 ・短歌や俳句に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わおう。 ・短歌、俳句それぞれの形式やリズム、表現方法を理解しよう。

第8回	単元名	働くということ
提出期限 9月15日	概要	鍋洗いの日々／手技に学ぶ／ブックガイド ・働く人の思いに触れ、社会に生きる自分の将来について考える。 ・働くことに対する理解を深める。
第9回	単元名	小説 3
提出期限 10月15日	概要	夢十夜／百年待っててください／沖縄の手記から／ひめゆりの塔／敬語を使う時に ・小説を読んで、登場人物の考え方や生き方について考えよう。 ・生と死や極限状態における人間の姿について深く考えよう。
第10回	単元名	評論 2
提出期限 10月15日	概要	美しさの発見／真の自立とは／評論読解 ここに注目！／言語活動編/スピーチする/調査して発表する/ 討論する/俳句を作る/意見文を書く/通知文を書く/情報を読み取る/実用文について考える ・文章全体の展開を把握し、筆者の主張を理解する。 ・筆者の主張に対する自分の意見を持つ。 ・スピーチをするにあたり大切な要素を理解する ・多様なメディアの主体的な読み取りの必要性を意識する。
第11回	単元名	古文入門／随想
提出期限 11月15日	概要	兄子のそら寝／古文学習のしるべ①～④／月光と白波／絵仏師良秀／徒然草／枕草子 ・古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を学ぼう。 ・説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しもう。
第12回	単元名	物語／漢文入門／論語／唐詩／史話
提出期限 12月15日	概要	訓読の基本／故事－三編／唐詩－八首／史話－三編／論語／漢文の窓／古文学習のしるべ⑤～⑥ ・漢文の特色を知り、きまりを理解しよう。 ・格言や故事を読んで、漢文の世界に親しもう。 ・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話のおもしろさを味わおう。 ・孔子の思想を通して、ものの見方や考え方を豊かにしよう。

面接指導計画

<p>1. 単元名 【4月～8月実施】現代文と触れ合う 【9月～10月実施】古文に学ぶ 【11月実施】漢文に学ぶ 【12月～3月実施】言語表現を豊かにする 【オンライン授業実施】敬語表現を学ぶ ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標 【知識・技能】 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 【話す・聞く能力】 目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 【書く能力】 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 【読む能力】 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 【関心・意欲・態度】 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。</p>

教科	国語	科目	国語表現	単位	3 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	3 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	60 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
------	--

教科書	東京書籍「国語表現」(国表304)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間9回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	調べるー情報収集の技術
提出期限 6月15日	概要	本に当たるー情報探しの一方法ー ・本や新聞、インターネットを利用した情報収集の技術を身に付けよう。 ・集めた情報を検証することの大切さを学ぼう。
第2回	単元名	取材するー聞き取り取材による情報収集
提出期限 7月15日	概要	医療という現場 ・インタビューやアンケートなど、聞き取り取材による情報収集の技術を身に付けよう。 ・場にふさわしい言葉遣いで話すとともに、相手の話を聞きながら簡潔かつ正確にメモを取る力を身に付けよう。
第3回	単元名	説明するー本のおもしろさを紹介する
提出期限 7月15日	概要	一人に対する未知の世界 ・本の紹介文や歌の鑑賞文を書くことを通して、自分の伝えたいことが効果的に伝わるよう、目的や相手に応じて取り上げる事柄を選んだり、表現の仕方を工夫したりすることの大切さを学ぼう。
第4回	単元名	まとめるー情報を整理して文章にまとめる
提出期限 8月15日	概要	伝える力 ・論文を書くことを通して、課題に応じて情報を収集・整理し、自分の考えをまとめる力と、構成や表現を工夫して書く力を身に付けよう。
第5回	単元名	古典の表現に学ぶー現代に生きる古典の表現
提出期限 9月15日	概要	『枕草子』に参加してみる ・歴史的観点から言葉の変化を捉え、古典の言葉と現代の言葉の相違や共通点について理解を深めよう。 ・古典の作品を声に出して読むことを通して、日本語のリズムや表現の特徴について理解を深めよう。
第6回	単元名	広告の表現に学ぶ/話す
提出期限 10月15日	概要	広告の表現に学ぶ 広告とレトリック/話す メモをもとにしたスピーチ ・広告の文章がキャッチフレーズとボディコピーの2つの部分から構成されていることを理解する。 ・コピーの作り方を理解する。 ・ポスター広告を作る時のプロセスを理解する。 ・広告を批評することの意味や大切さを理解する。 ・話す技術を高める方法と、よい聞き手になるために必要なことを理解する。

第7回	単元名	発表する / 討論する
提出期限 11月15日	概要	発表する 情報を整理して口頭で伝える/討論する 主張の観点と根拠を考える <ul style="list-style-type: none"> ・発表の目的を確認する。 ・発表の計画の立て方を理解する。 ・発表における資料やデータの分析と視覚化について理解する。 ・口頭で発表する時の注意点について理解する。 ・討論という形式の意味を知り、討論の必要性を理解する。 ・討論会の手順と、討論の時に注意する事柄について理解する。
第8回	単元名	意見文を書く/小論文を書く(1)
提出期限 11月15日	概要	意見文を書く 構成を考える/小論文を書く 「考え方」を考える <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意見を正しく把握する方法を理解する。 ・筆者の意見に対して自分の考えを持つ方法を理解する。 ・文章の構成の仕方や接続語の活用など、自分の意見を論理的に述べるための工夫を理解する。 ・推敲の大切さなどを理解する。 ・意見文と小論文の違いについて理解する。
第9回	単元名	意見文を書く/小論文を書く(2)
提出期限 12月15日	概要	付録 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる時のポイント/図書館で本を探す/本で調べる/インターネットを使う/著作権と引用/インタビューとアンケート/電話をかける/誤りやすい敬語の使い方/手紙を書く/面接の受け方/文章構成の型/マップ法を使う/図表を活用する

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】情報を整理して伝える</p> <p>【9月～10月実施】現代社会の表現に学ぶ</p> <p>【11月実施】討論/意見文作成</p> <p>【12月～3月実施】紹介文作成</p> <p>【オンライン授業実施】現代に生きる古典の表現</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。</p> <p>【話す・聞く能力】 目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。</p> <p>【書く能力】 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。</p> <p>【関心・意欲・態度】 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。</p>
--

教科	国語	科目	現代文 A	単位	2 単位
----	----	----	-------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
------	---

教科書	東京書籍「現代文 A」 (現 A 3 0 6)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間 6 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	小説編ー現代
提出期限 6 月 15 日	概要	みどりのゆび ・表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解しよう。 ・多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養おう。
第 2 回	単元名	小説編ー近代(1)
提出期限 7 月 15 日	概要	山椒魚 ・表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解しよう。 ・多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養おう。
第 3 回	単元名	小説編ー近代(2)
提出期限 8 月 15 日	概要	こころ ・表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解しよう。 ・多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養おう。
第 4 回	単元名	随想・評論(1)
提出期限 10 月 15 日	概要	さくらさくらさくら／ミロのヴィーナス ・どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取ろう。 ・人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養おう。
第 5 回	単元名	随想・評論(2)
提出期限 11 月 15 日	概要	分からないからおもしろい／豊かさと生物多様性 ・どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取ろう。 ・人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養おう。
第 6 回	単元名	随想・評論(3)
提出期限 12 月 15 日	概要	言葉は世界を切り分ける／思考の肺活量 ・どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取ろう。 ・人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養おう。

面接指導計画

1. 単元名 【4 月～8 月実施】さまざまな生 (小説編) 【9 月～10 月実施】詩歌に触れる

【11月実施】現代社会を見つめ直す（随想・評論編）

【12月～3月実施】今を生きる視点を考える（小説・随想・評論）

【オンライン授業実施】『山椒魚』から学ぶ自己表現

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

【話す・聞く能力】

目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。

【書く能力】

相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。

【読む能力】

近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。

【関心・意欲・態度】

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

「現代文B」 3 学年 年間学習指導計画

教科	国語	科目	現代文B	単位	4 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
------	--

教科書	東京書籍「新編現代文B」(現B321)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	随想一広がる風景/小説1-つながる心
提出期限 6月15日	概要	こそめスープ/言葉の扉①誤用しやすい慣用句/ナイン/小説の楽しみ①ストーリーの「語られ方」 ・随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ろう。 ・小説に描かれた人物の心情や人間関係を表現に即して読み取ろう。
第2回	単元名	評論1-考える手がかり/詩歌-イメージの世界
提出期限 6月15日	概要	生命とは何か/考える楽しみ①「ふしぎ」に驚く心/一つのメルヘン/I was born/信濃路【短歌】 ・評論を読んで、文章の構成、展開、要旨を的確に捉えよう。 ・詩歌を読んで、それぞれのリズムや表現の特色を味わおう。
第3回	単元名	小説2-物語の楽しみ
提出期限 7月15日	概要	旅する本/小説の楽しみ②小説は誰のものか ・寓話的な話のおもしろさを味わい、その主題と構想とを理解しよう。 ・小説を読む楽しさに気づき、日々の生活の中で読書する習慣を身につけよう。
第4回	単元名	評論2-現実の中で
提出期限 7月15日	概要	安心について/考える楽しみ②言葉にする時、しない時 ・表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握しよう。
第5回	単元名	小説3-心の奥へ
提出期限 8月15日	概要	こころ/言葉の扉②知っておきたいカタカナ語 ・小説における場面展開や、人物の性格・心理の描写を読み取ろう。
第6回	単元名	働くよるこび/評論1-時代をひらく
提出期限 8月15日	概要	楽に働くこと、楽しく働くこと/情景のなかの労働/鉄、千年のいのち/最初のペンギン/考える楽しみ③「真の価値」を求めて ・さまざまな観点から書かれた働く人の文章を読んで、働くことについて考えを深めよう。 ・論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えよう。
第7回	単元名	小説1-生きるかたち
提出期限 9月15日	概要	山月記 ・小説の登場人物の行動や内面を探り、人間への理解を深めよう。
第8回	単元名	随想-新しい視点から

提出期限 9月15日	概要	カフェの開店準備 ・体験に基づく随想を読んで、筆者の思いを表現に注意して捉えよう。
第9回	単元名	詩歌 一心のうた
提出期限 10月15日	概要	竹／永訣の朝／一日の長さ／春雷【俳句】 ・さまざまな詩歌を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養おう。
第10回	単元名	評論2－知のゆくえ
提出期限 10月15日	概要	言葉は世界を切り分ける／もう一つの知性 ・比較の手法を用いた評論を読んで、筆者の主張を的確に捉えよう。
第11回	単元名	小説2－現代の生
提出期限 11月15日	概要	ベル・エポック ・背景となる社会状況に注意して小説を読み、人間の生き方について考えよう。
第12回	単元名	評論3－明日をみつめて
提出期限 12月15日	概要	ホンモノのおカネの作り方 ・具体例と抽象的な説明に着目して、評論の内容を的確に読み取ろう。

面接指導計画

<p>1. 単元名 【4月～8月実施】小説・随想・詩歌から今を考える（Ⅰ部） 【9月～10月実施】評論文に触れる（Ⅰ部） 【11月実施】文学から自己を見つめ直す（Ⅱ部） 【12月～3月実施】現代社会を読む（Ⅱ部） 【オンライン授業実施】『ころ』から学ぶ ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標 【知識・技能】 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 【話す・聞く能力】 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 【書く能力】 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 【読む能力】 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 【関心・意欲・態度】 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。</p>
--

「古典A」 3 学年 年間学習指導計画

教科	国語	科目	古典A	単位	2 単位
----	----	----	-----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	40 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。
------	--

教科書	東京書籍「古典A」(古A301)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第1回	単元名 物語(1)
提出期限 6月15日	概要 伊勢物語／大和物語／うつほ物語／とりかへばや物語 ・さまざまな物語作品を読み、登場人物の心情や行動について考えよう。 ・古典の言葉が現代の言葉とどのようにつながっているのかを理解しよう。
第2回	単元名 物語(2)
提出期限 7月15日	概要 源氏物語 ・さまざまな物語作品を読み、登場人物の心情や行動について考えよう。 ・古典の言葉が現代の言葉とどのようにつながっているのかを理解しよう。
第3回	単元名 歴史
提出期限 8月15日	概要 大鏡／平家物語 ・歴史上の人物、出来事がどのように語られているかを読み取るようにしよう。 ・音読などを通して、古文特有の表現を味わい、また、そこに表れる中国文化の影響について理解しよう。
第4回	単元名 評論・随筆
提出期限 10月15日	概要 風姿花伝／玉勝間 ・「秘すれば花なり。秘せずば花なるべからず。」「秘事といふことの大用を知らぬがゆゑなり。」の内容を読み取る。 ・筆者が「師の説になづまざる」と述べる理由を読み取る。 ・筆者の考える「学問の道」とはどのようなものか読み取る。 ・「真淵と宣長の出会い」を読み、二人の学者について知るとともに、「学問」について深く考える。
第5回	単元名 漢文(1)
提出期限 11月15日	概要 故事と寓話／孔子と子路 ・孔子が子路をどのような人物と考えているか読み取る。 ・正確に訓読できるよう繰り返し読む。 ・「荘公」が登場するまでを読み取る。 ・中島敦の「弟子」の一部を読み、子路の人物について認識を深める。 ・『論語』に見える子路についての記述をもとに認識を深める。
第6回	単元名 漢文(2)
提出期限	概要 漢の高祖と韓信・張良 ・高祖はどのような人物として描かれているか読み取る。

12月15日		<ul style="list-style-type: none">・ 沛公が「法三章」を提示した理由を考える。・ 故郷の沛に戻った高祖の心情を読み取る。
--------	--	--

面接指導計画

1. 単元名

- 【4月～8月実施】物語（古文編）
 - 【9月～10月実施】歴史（古文編）
 - 【11月実施】『源氏物語』に触れる
 - 【12月～3月実施】評論・随想（古文編）
 - 【オンライン授業実施】文学史に触れる
- ※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

【読む能力】

まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。

【関心・意欲・態度】

古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。

「世界史B」 3 学年 年間学習指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位	4 単位
----	------	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①自然環境と人類とのかかわりや、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活の中にみられる世界史を調べる活動を通して、世界史への興味関心を高め、世界史を学ぶ意義に気づく。</p> <p>②古代から現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと展開を、地域世界の動向に焦点を当てながら学習し、地球世界の形勢という大きな時間的枠組みの中で理解させる。</p> <p>③古代から現代にいたる世界の歴史を、年表や地図、その他の資料に基づいて学習し、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させる。</p> <p>④世界の歴史における文化・文明の多様性・複合性や現代世界の特徴を、広い視野から考察することにより、歴史的思考力を培う。</p> <p>⑤主体的な学習活動を通して、現代の世界が抱える諸課題について探究し、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「新選世界史B」(世B 311)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第1回	単元名 地球と人類のはじまり／西アジア世界・地中海世界の形成
提出期限 6月15日	概要 地球と人類のはじまり／オリエント文明の形成／ギリシア世界とオリエント／ローマ帝国と地中海世界 ・宇宙、地球の誕生、人類の起源、文明が成立していく過程を学ぼう。 ・国家が成立した背景について学び、国家の役割について考察しよう。 ・メソポタミア文明、エジプト文明の成立の経緯と、それぞれの文明の特徴を学ぼう。 ・クレタ文明とミケーネ文明の特徴について学ぼう。 ・ローマで共和政が発達し、地中海世界を統一していく経緯、支配のしくみを理解しよう。
第2回	単元名 南アジア世界・東南アジア世界の形成
提出期限 6月15日	概要 古代インド文明の形成／ヒンドゥー国家と社会の展開／東南アジア世界の形成 ・インダス文明の特徴と展開を学び、アーリヤ人の南下がインドの文明に与えた影響について理解しよう。 ・ヒンドゥー教の成立の経緯を学び、その基本的な教義を理解しよう。 ・中国、インドとの交流により、さまざまな文明や宗教がもたらされ、東南アジアの文化が形成されたことを理解しよう。
第3回	単元名 東アジア世界・内陸アジア世界の形成
提出期限 7月15日	概要 中国の古典文明／中華帝国の形成／中国の分裂と遊牧国家／中華帝国と東アジア／古代日本と東アジア世界 ・中国の古典文明が成立し発展する経緯を学び、その特徴を理解しよう。 ・始皇帝が統一した秦の制度や支配の特徴、北方遊牧民族との関係について学ぼう。 ・劉邦により統一された漢の制度、匈奴などの北方遊牧民族の動向について学ぼう。 ・後漢の衰退後、隋が再統一するまでの中国の王朝の推移について学ぼう。 ・隋・唐の成立から滅亡にいたる経緯を学び、その領域や制度の変遷について理解します。
第4回	単元名 イスラーム世界の形成と拡大
提出期限 7月15日	概要 イスラーム国家の成立／軍人政権の時代／アフリカ・南アジアのイスラーム化／イスラームの文化

		<ul style="list-style-type: none"> ・アッラーの導きに従って新しい社会を築くことを説いたムハンマドがアラビア半島を統一する経緯を学び、イスラームの基本的な教えや世界観を理解しよう。 ・軍人政権の支配のしくみや特徴を学び、軍人政権がイスラーム世界に与えた影響について考察しよう。 ・サハラ交易を通じて、アフリカの黒人王国がイスラーム化する経緯を学ぼう。
第5回	単元名	ヨーロッパ世界の形成と変動
提出期限 8月15日	概要	ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界／西ヨーロッパ世界の成立／ヨーロッパ世界の変動 <ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国の歴史について学び、その興亡と地理的条件との関連について考察しよう。 ・ゲルマン人が大移動した背景と影響を学ぼう。 ・十字軍が派遣された経緯とその後の展開を学び、十字軍派遣の背景と影響について考察しよう。
第6回	単元名	内陸アジア世界と諸地域世界
提出期限 8月15日	概要	北方諸民族と宋／モンゴル帝国の興亡／ユーラシア諸地域の交流と再編 <ul style="list-style-type: none"> ・唐の滅亡による影響、ウイグルや契丹の活動について学ぼう。 ・モンゴル帝国成立の経緯について学ぼう。 ・モンゴル帝国の成立により、ユーラシア大陸の東西の交流が進んだことを理解し、帝国解体後の諸地域の変化について学ぼう。
第7回	単元名	諸地域世界の結合と変容(1)
提出期限 9月15日	概要	アジア諸地域世界の繁栄と成熟 <ul style="list-style-type: none"> ・明と清の繁栄／東アジア諸国の発展／東南アジアの大航海時代／イスラーム諸国家の繁栄
第8回	単元名	諸地域世界の結合と変容(2)
提出期限 9月15日	概要	ヨーロッパの拡大と大西洋世界 <ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代／ルネサンス／宗教改革／主権国家の成立／東方の大国／ラテンアメリカ／ヨーロッパ人の進出とアメリカ・アフリカ
第9回	単元名	諸地域世界の結合と変容(3)
提出期限 10月15日	概要	産業社会と国民国家の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命／アメリカ合衆国の独立／フランス革命とナポレオン／ウィーン体制と1848年の革命／国民国家の建設と国際関係の推移／ヨーロッパの文化
第10回	単元名	諸地域世界の結合と変容(4)
提出期限 10月15日	概要	世界市場の形成とアジア諸国 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国のアジア進出／西アジアの変動／南アジア・東南アジアの変動／東アジアの変動／海外ツアーの誕生
第11回	単元名	地球世界の形成(1)
提出期限 11月15日	概要	世界の分割 <ul style="list-style-type: none"> ・世界を支配する国々／アジアの民族主義と国家建設／世界の一体化
第12回	単元名	地球世界の形成(2)／21世紀の課題 ー資料を活用して探究する地球世界の課題
提出期限 12月15日	概要	二つの世界大戦／戦後世界の形成と変容 <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦／ヴェルサイユ体制とワシントン体制アジアの独立運動と革命／アメリカ合衆国の繁栄／世界恐慌と自由主義への挑戦／第二次世界大戦／冷戦の展開と第三世界／平和共存と多極化／アメリカ経済の動揺と国際秩序の変容／冷戦の終結とその後の世界／21世紀を生きる私たち／民族や文化のちがいをみとめながら生きる／「青い宝石・地球」を未来にうけつぐ

面接指導計画

1. 単元名 【4月～8月実施】西アジア世界・地中海世界の形成 【9月～10月実施】内陸アジア地域と諸地域世界 【11月実施】産業革命 【12月～3月実施】冷戦の展開と第三世界 【オンライン授業実施】イスラーム世界の形成と拡大 ※上記から2通りを学習する。 2. 単元目標 【関心・意欲・態度】

- ・世界の歴史を学ぶ意義に気づき、世界史に対する関心を高め、主体的に学習に取り組んでいるか。
- ・世界が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく当事者としての自覚を持って考える態度を身につけているか。

【思考・判断・表現】

- ・世界の歴史を、自然環境とのかかわりや地理的条件、日本の歴史と関連づけて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。
- ・世界の歴史を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して考察しているか。
- ・歴史的に形成された諸課題について、様々な理解、立場があることをふまえて、公正に判断しているか。
- ・課題についての考察や判断の過程や結果を、効果的な方法を選択して適切に表現しているか。

【資料活用の技能】

- ・世界の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができているか。
- ・得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身につけているか。

【知識・理解】

- ・古代から現代にいたる世界の政治、経済、社会、文化、宗教、生活の各領域における歴史的な事象を理解し、基本的な知識を身につけているか。
- ・古代から現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと展開を、地理的条件や日本の歴史とも関連づけながら理解しているか。

「日本史B」 1 学年 年間学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位	4 単位
----	------	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。</p> <p>②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。</p> <p>③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>
------	--

教科書	東京書籍「新選日本史B」(日B310)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	原始社会の生活と文化／農耕社会の形成と大陸文化の摂取
提出期限 6月15日	概要	更新世の日本／縄文文化／弥生文化と小国家の形成／大和王権と古墳文化 ・気候や地形、動植物相・植生の変化などの自然環境に着目し、人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を学ぼう。 ・集落立地、食料獲得方法と食生活の変化、富の蓄積、習俗や墓制の推移等の社会の変化を学ぼう。 ・小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について学ぼう。
第2回	単元名	律令国家の形成と古代文化の展開
提出期限 6月15日	概要	飛鳥の朝廷と文化／律令国家の成立と白鳳文化／平城京と天平文化 ・東アジア世界が大きく変動するなか、推古朝の国政改革が進んだことを学ぼう。 ・大化改新を経て、律令国家が形成される過程を学ぼう。 ・中央集権体制のしくみと奈良時代の政治の動向について学ぼう。
第3回	単元名	摂関政治と文化の和様化／中世社会の成立(1)
提出期限 7月15日	概要	平安遷都と唐風文化／貴族社会と摂関政治／国風文化／院政と荘園／平氏政権の登場 ・藤原氏による摂関政治が始まったことを学ぼう。 ・地方政治が転換するなか、武士団の形成が始まったことを学ぼう。 ・院政のしくみについて学ぼう。 ・12世紀の保元の乱・平治の乱を経て、武家政権としての平氏政権が成立したことを学ぼう。
第4回	単元名	中世社会の成立(2)
提出期限 7月15日	概要	鎌倉幕府の誕生／執権による政治／元寇と社会の変貌／鎌倉の仏教と文化 ・鎌倉幕府の成立過程とこの時代の武士の生活について学ぼう。 ・鎌倉幕府が、二元的支配からしだいに公家政権より優位に立つようになっていったことを学ぼう。 ・元寇の前後、宋銭の流入によって貨幣経済が進展したことや鎌倉幕府内で得宗の力が強まったことを学ぼう。
第5回	単元名	武家社会の形成と東アジア

提出期限 8月15日	概要	室町幕府の創設／倭寇と東アジアの交易／下剋上の社会と戦国大名／室町文化 ・鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱のなかで室町幕府が成立した過程について学ぼう。 ・倭寇の活動を背景にして、日明貿易・日朝貿易が展開したことを学ぼう。 ・産業経済の発達や庶民の台頭を経て、庶民の活動が従来の社会秩序を変える原動力になったことを学ぼう。
第6回	単元名	ヨーロッパ文化との接触と国内統一／幕藩体制の成立
提出期限 8月15日	概要	ヨーロッパ文化との接触／織豊政権による全国統一／桃山文化／江戸幕府と大名・朝廷／身分制度の確立／キリスト教禁止と鎖国 ・大航海時代という世界史的背景のもと、日本に鉄砲やキリスト教が伝来したことを学ぼう。 ・織田信長・豊臣秀吉による天下統一の過程と、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について学ぼう。 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した豪壮華麗な文化が栄えたことを学ぼう ・江戸幕府の組織と大名統制、朝廷・寺社統制など、幕藩体制の特色について学ぼう。 ・近世社会の身分制度を学び、幕府による農民統制と農村における自治について理解しよう。 ・鎖国政策による貿易統制と禁教という側面とともに、オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易が行われたことを学ぼう。
第7回	単元名	近代社会の形成と庶民文化の展開
提出期限 9月15日	概要	近代社会の発達と町人文化／幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 ・幕府政治の進展／経済と産業の発達／学問の新傾向と元禄文化／幕藩体制の動揺と政治改革／幕藩体制の危機／江戸幕府は「鎖国」をしていたか／新しい学問の形成と化政文化
第8回	単元名	近代国家の形成と国民文化の発展(1)
提出期限 9月15日	概要	開国から明治維新へ ・東京開化名勝京橋石造銀座通り 両側煉化石 商家盛栄之図／開国／幕府の滅亡／統一国家の成立／近代国家をめざして／殖産興業と文明開化／明治初期の国際情勢／岩倉遣外使節団
第9回	単元名	近代国家の形成と国民文化の発展(2)
提出期限 10月15日	概要	立憲政治の形成と国民文化／日本の近代化と東アジア ・政府専制への批判／西南戦争と庶民／立憲政治の成立／新しい文化の形成／日清戦争と東アジアの変容／「中国分割」と日露戦争／工業化と資本主義の発達／産業革命をささえた女性たち／近代文化の発達
第10回	単元名	近代国家の形成と国民文化の発展(3)
提出期限 10月15日	概要	デモクラシーと第一次世界大戦／激動する世界と日本 ・第一次世界大戦と日本／新たな国際秩序と日本への影響／大衆社会の形成／揺れ動く経済と中国侵略の本格化／日中戦争と国内体制の改編／太平洋戦争／沖縄戦
第11回	単元名	現代の世界と日本(1)
提出期限 11月15日	概要	占領と国内改革／国際社会への復帰と高度経済成長 ・この時代の人々の姿 — 現代／占領と日本国憲法の成立／冷戦の開始と経済復興／国際社会への復帰と対米協調／経済自立を考える／経済の高度成長
第12回	単元名	現代の世界と日本(2)
提出期限 12月15日	概要	石油ショックと低成長の時代／新しい国際秩序と日本の課題 ・1970年代の国際社会と日本／安定成長への転換／55年体制／激変する世界と日本／停滞する日本経済と成長するアジア

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】幕藩体制の成立/江戸幕府と大名・朝廷</p> <p>【9月～10月実施】武家社会の形成と東アジア/下剋上の社会と戦国大名</p> <p>【11月実施】政府専制への批判</p> <p>【12月～3月実施】占領と日本国憲法の成立</p> <p>【オンライン授業実施】律令国家の成立と白鳳文化</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・歴史的な事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気付き、関心を持って主体的に学習に取り組んでいるか。</p>

・現代の社会が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく主体としての自覚をもって考える態度を身に付けているか。

【思考・判断・表現】

- ・日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。
- ・歴史的に形成された諸課題について、さまざまな理解・立場があることをふまえて、公正に判断しているか。
- ・課題についての考察や判断の過程や結果を、適切な方法を選んで効果的に表現しているか。

【資料活用の技能】

- ・日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。
- ・得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身に付けられているか。

【知識・理解】

- ・基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解しているか。
- ・日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。

教科	地理歴史	科目	地理B	単位	4 単位
----	------	----	-----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。</p> <p>②現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。</p> <p>③地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「地理B」(地B306)
副教材	「新高等地図」

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	地理情報の表現方法/地図の活用と地域調査
提出期限 6月15日	概要	<p>球体としての地球/地理情報と地図/地理情報を地図化する</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上の水陸分布、経緯線を踏まえた位置、時差や季節の生じるメカニズムについて考察することで、球面状の世界について把握しよう。 図の有用性を把握した上で、情報通信技術の発達が地図表現に具体的にどのような影響をもたらしたのかを理解しよう。 地図は地理情報が表現されたものであること、表現方法によって一般図と主題図とに分かれることを理解しよう。
第2回	単元名	自然環境(1)
提出期限 6月15日	概要	<p>世界の地形/地震と津波</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活環境の基盤となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解を深めよう。 地震・津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害について理解を深めよう。
第3回	単元名	自然環境(2)
提出期限 7月15日	概要	<p>世界の気候/日本の自然環境/世界の環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界規模での各気候帯の分布の特徴を踏まえた上で、各気候帯と植生や土壌との対応関係について理解を深めよう。 日本の地形の特徴や日本でこれまでに発生した火山・地震・津波の各自然災害について理解を深めよう。 地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因とそれによってもたらされる影響について多面的に理解を深めよう。
第4回	単元名	資源、産業(1)
提出期限 7月15日	概要	<p>産業の発展と産業地域/農林水産業/食料問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業の歴史の変容とその社会的背景について理解を深めよう。 産業立地の成立要因について自然、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から理解を深めよう。 緑の革命や遺伝子組み換え食品といった食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状とその問題点について理解を深めよう。
第5回	単元名	資源、産業(2)

提出期限 8月15日	概要	エネルギーと鉱産資源／資源・エネルギー問題／工業の立地と工業地域の変容／第三次産業と交通・通信 ・暮らしを支えるエネルギーの重要性，需要の高まりより生じる問題点について理解を深めよう。 ・化石燃料の大量消費に伴って生じる資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から理解を深めよう。 ・業立地の条件がどのように類型化されるのか理解を深めるとともに，立地の変化要因とそれによって生じる問題点について考えよう。 ・サービス産業の特徴や変化について理解を深めよう。
第6回	単元名	資源，産業(3)／人口，都市・村落(1)
提出期限 8月15日	概要	消費と観光／貿易と経済機構／人口／人口問題 ・先進国と発展途上国の消費行動の特徴について理解を深めよう。 ・自由貿易体制が構築された背景やそれに伴い生じた国際分業体制の特徴について理解を深めよう。 ・世界の人口分布と人口推移の現状について地球の視野から大観しよう。 ・発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題，解決へ向けての課題について理解を深めよう。
第7回	単元名	人口，都市・村落(2)
提出期限 9月15日	概要	都市・村落／居住・都市問題 ・都市の発達や大都市圏の形成過程について多面的に理解を深めよう。 ・発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について多面的・多角的に理解を深めよう。
第8回	単元名	生活文化、民族・宗教
提出期限 9月15日	概要	生活文化／民族・言語・宗教／民族問題／現代の国家と領土問題 ・文化についての定義を踏まえた上で，文化の差異と融合，各地域における自然環境との関係によって多様性がもたらされることを理解しよう。 ・民族についての定義を踏まえた上で，国民国家やエスニシティとの関係性について理解を深めよう。 ・世界各地で勃発している民族紛争の社会的背景について理解を深めよう。 ・国家の領域や国境の概念について具体例をあげながら理解を深めていこう。
第9回	単元名	現代世界の地誌的考察(1)
提出期限 10月15日	概要	現代世界の地域区分／現代世界の諸地域 ・地域区分の方法と意義／地誌的な考察方法とこの教科書の事例地域／東アジア
第10回	単元名	現代世界の地誌的考察(2)
提出期限 10月15日	概要	現代世界の諸地域 ・東南アジア／南アジア／西アジア・西アジアと中央アジア
第11回	単元名	現代世界の地誌的考察(3)
提出期限 11月15日	概要	現代世界の諸地域 ・北アフリカとサハラ以南アフリカ／ヨーロッパ／ロシア
第12回	単元名	現代世界の地誌的考察(4)
提出期限 12月15日	概要	現代世界の諸地域 ・アンゴラアメリカ／ラテンアメリカ／オセアニア／日本が直面する地理的な諸課題／日本が抱える地理的諸課題を探究する

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】地理情報の表現方法</p> <p>【9月～10月実施】自然環境</p> <p>【11月実施】食料問題の背景と地域性</p> <p>【12月～3月実施】民族問題</p> <p>【オンライン授業実施】産業と資源（産業集積地）</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p>

【関心・意欲・態度】

国内外の地理的事象に関心を持ち、理解しようとする。

地理学習の意義を積極的に見出し、自らの生活と諸課題を結びつけようとする。

【思考・判断・表現】

地理的な概念や規則性をもとに、各地域の特色や諸課題について背景や要因・改善策について、報告や提言として表現することができる。

現代世界の地理的諸事象を多角的に分析・考察し、地理的概念や規則性を発見する過程を通して、地理的な見方や考え方を身につける。

【資料活用の技能】

地理的な資料を適切に取捨選択・活用し、現代の世界や地域について特徴を把握することができる。

各種の地図を読み取り、身の回りの地理的な諸事象について理解できる。

【知識・理解】

国内外の諸地域における多様な課題について、多角的に理解する。

社会生活を営むにあたり必要な地理的な見方・考え方を身につける。

「現代社会」 1 学年 年間学習指導計画

教科	公民	科目	現代社会	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①現代社会の基本的な問題として、地球環境問題、資源・エネルギー問題、科学技術の発達と生命、情報化の進展などを取り上げ、現代社会をとらえる枠組みとしての幸福、正義、公正の視点を理解する。</p> <p>②現代社会の特質及びそこに生きる青年期の自己形成の課題について考えるとともに、よりよく生きることを追求した先哲の基本的な考え方について理解する。</p> <p>③民主政治の基本的な考え方、日本国憲法の基本原理、日本の政治機構などについて理解し、現代の政治の諸課題について考察する。</p> <p>④法の支配の意義を理解するとともに、現代社会における法の働きなどについて学び、裁判員制度に代表される国民の司法参加の意義について考察する。</p> <p>⑤現代の経済の仕組みを市場や国民経済の観点から理解するとともに、日本の経済の動きを学び、政府による調整を必要とする消費者問題や雇用と労働、社会保障の現状と課題などについて考察する。</p> <p>⑥国際社会の仕組みと動きを政治、経済の観点から理解するとともに、国際社会の諸課題について考察し、国際社会における日本の役割について考えさせる。</p>
------	---

教科書	東京書籍「現代社会」(現社 313)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第1回	単元名 わたしたちの生きる社会/青年期と自己形成の課題(1)
提出期限 6月15日	概要 わたしたちの生きる社会/現代社会と青年の生き方/よりよく生きることを求めて(1) ・現代社会の特質であるグローバル化や少子高齢化の進展について具体的に理解し、今後の経済や社会、社会保障などの課題について考察しよう。 ・よく生きることを追求したソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想、心の持ち方やよりよい生き方を求めた孔子などの儒家、老子や荘子などの道家の思想を理解しよう。 ・人間の尊厳を理性の働きによって説明したカントや理性の社会における具体化を主張したヘーゲル、幸福と正義の関わりを考えたアダム・スミス、ベンサム、J.S.ミルの思想について理解しよう。
第2回	単元名 青年期と自己形成の課題(2)/日本国憲法と民主政治(1)
提出期限 7月15日	概要 よりよく生きることを求めて(2)/民主政治とは/日本国憲法の基本原理/日本の政治機構 ・「おのづから」でとらえる日本人のものの考え方、八百万の神に示される神のとらえ方、清き明き心などの日本人の倫理観について理解しよう。 ・民主政治がヨーロッパで生まれた経緯や社会契約説、権力分立の思想、議会制民主主義の成立と仕組みについて理解しよう。 ・大日本帝国憲法の性格を学ぶとともに、日本国憲法が制定されるまでの経緯について学習し、日本国憲法の三大原理について理解しよう。 ・日本国憲法に定める平和主義の内容を確認し、日本の防衛と自衛隊のかかわり、安全保障に関する日本とアメリカの関係などについて考察し、日本の安全保障法制の冷戦終結後の動きを学習しよう。 ・三権の相互関係について理解し、国会の役割と権限、二院制をとっている国会の構成と運営、現状と改革の動きについて学習しよう。
第3回	単元名 日本国憲法と民主政治(1)/現代社会の法
提出期限 8月15日	概要 現代政治の特質と課題/現代社会と法 ・近代選挙の四原則、選挙制度の概要、日本の選挙制度の仕組みについて理解し、「一票の格差」など選挙制度をめぐる課題について考察しよう。

		<ul style="list-style-type: none"> ・法の特徴、法の種類、法と道徳や正義との関係、法の支配と立憲主義の意味について理解しよう。 ・刑事司法の意味や原則、刑事裁判の制度、裁判員制度について理解し、日本の司法と人権の課題について考察しよう。
第4回	単元名	現代の経済と国民福祉(1)
提出期限 10月15日	概要	<p>経済社会の変容／現代の企業／市場経済のしくみ／国民所得と経済成長／金融のしくみと働き／中央銀行の役割と金融の自由化／政府の役割と財政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命などを契機に資本主義経済が成立したこと、アダム・スミスの考え、資本主義経済の変容と社会主義やケインズの理論、資本主義の現在について理解します。 ・経済主体の一つである企業の役割、企業の活動、株式会社の特色、国際化に伴う変化、企業の社会的責任について理解します。 ・財やサービスを価格の動きを通じて配分していく市場の仕組み、寡占市場における価格の形成、独占禁止政策について理解します。また、価格機構が十分に働かない市場の失敗について考察します。 ・国の経済の指標であるGDPや国富などについて理解し、経済成長の意味や景気の変動について学習します。 ・金融システムの仕組み、資金を融通する方法としての直接金融、間接金融、通貨制度、信用創造について理解します。 ・中央銀行の果たしている役割、金融政策の種類と働きについて理解し、金融の自由化、国際化の動きや背景について考察します。 ・市場経済の限界を補う意味を持つ政府の経済的な活動について理解すると同時に、財政制度、租税と公債、財政問題について考察します。
第5回	単元名	現代の経済と国民福祉(2)
提出期限 11月15日	概要	<p>戦後復興と高度経済成長／産業構造の転換と国際経済環境の変化／経済のバブル化とその後／日本経済の現在／日本経済の現在／中小企業と農業／自立した消費者への道／労働者の権利／現代の雇用・労働問題／社会保障の役割／環境保全と循環型社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の経済復興にかかわる諸改革や高度経済成長の経過や背景について理解します。 ・高度経済成長以降の石油危機や産業構造の変化、為替相場制度の変更、プラザ合意と円高不況、1980年代後半以降のバブル経済について理解します。 ・平成不況の状況、「失われた10年」といわれた時期の日本経済、構造改革の特徴とそれがもたらした様々な問題について理解します。また、日本経済の現状と課題について考察します。 ・中小企業の現状と経済や産業に占める役割、農業の現状と農業に関する諸政策について理解し、諸課題について考察します。 ・消費者主権の意味や消費者問題の背景、消費者運動、消費者行政と関連法制の概要を理解し、消費者の自立に向けた取り組みについて考察します。 ・労働契約の特性、労働組合、労働運動、労働者の権利の必要性、労働に関する法制を理解します。 ・バブル経済崩壊以降の労働や雇用環境の変化、労働や雇用にかかわる様々な課題について理解します。 ・社会保障の意義と制度の歴史、日本の社会保障制度の概略について理解し、少子高齢社会における社会保障制度の在り方について考察します。 ・高度経済成長とともに引き起こされた日本の公害問題とその後の政府の公害対策、新しい公害と環境保全について理解し、今後における持続可能な社会、循環型社会について考察します。
第6回	単元名	国際社会と人類の課題
提出期限 12月15日	概要	<p>国際社会の特質/国際紛争を避けるしくみ/国際連合と安全保障/冷戦とその後の世界/軍縮への取り組み/貿易と国際分業/外国為替のしくみと国際収支/戦後国際経済の枠組みとその変化/対立と協調の時代/グローバル化する経済/国際社会の現状と課題/地域統合の進展/変容する世界経済/国際的な格差の是正/地域紛争と難民問題/国境をこえて広がる地球規模の課題/日本の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家の三要素、主権国家の成立、国家間の諸問題と外交、国際法の意義と国際法の種類などについて理解します。 ・国際紛争を避ける仕組みとしての勢力均衡、集団安全保障、国際連盟の特色、国際連合の設立と仕組みについて理解します。 ・国連の安全保障への取り組みの現状と課題、平和維持活動の役割、地域的な安全保障の取り組みについて理解します。 ・国連の経済的・社会的役割や、国連による人権の国際的保障の取り組みについて理解し、国際連合の課題について考察します。 ・第二次世界大戦後の東西の対立、1960年代の緊張緩和、多極化の動き、その後の冷戦の終結、冷戦終結後の紛争と対立などについて理解します。 ・米ソの軍備拡張競争と反核運動、国連の軍縮に向けた取り組みと成果について理解し、軍縮に伴う課題、信頼を育てることの重要性について考察します。 ・貿易の意義、自由貿易と保護貿易、リカードやリストの考え方、企業の展開と国際分業の実態について理解します。 ・取り引きの決済方法としての外国為替の仕組み、為替レートの変動要因と影響、国際収支の仕組みについて理解します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・IMF-GATT 体制成立の背景やその仕組み, 貿易ルールにかかわる GATT の仕組み, IMF-GATT 体制の危機と崩壊について理解します。 ・1970 年代の国際経済の枠組み立て直し, ウルグアイ・ラウンドと WTO の成立, 国や地域間の貿易や経済の連携や協定について理解します。 ・グローバル化の時代の特色, 金融の動きのグローバルな展開について理解し, 世界経済の安定化に向けた課題について考察します。 ・ヨーロッパにおける EC や EU の展開, アメリカやアジア太平洋地域における地域統合の動きについて理解し, 地域統合の進展の理由などについて考察します。 ・ソ連における社会主義経済の成立と展開, ベレストロイカ以降の民主化とロシアの動き, 中国における市場経済化の動き, 多様化する世界経済について理解します。 ・南北問題の背景, 1970 年代以降の南北問題などの動き, 国連などの南北格差の是正を進める取り組みについて理解します。 ・民族と国家の関係や, 政治的・経済的対立が引き起こす地域紛争や, 紛争などによって引き起こされる難民問題について考察します。 ・人口の増加や人口構成の変化などの世界の人口問題, 食料生産や食料不足にかかわる国際的な問題, 感染症問題や医療資源の偏在などの問題について考察します。 ・戦後の日本外交のあらまし, 国際平和や経済, 環境面で日本が果たす役割, 国際貢献について考察します。
--	--

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】選挙のしくみと課題</p> <p>【9月～10月実施】青年期の発達課題</p> <p>【11月実施】社会保障の役割</p> <p>【12月～3月実施】国際的な格差の是正</p> <p>【オンライン授業】労働者の権利</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究しているか。</p> <p>社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。</p> <p>平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けているか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄から課題を見だし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。</p> <p>課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断しているか。</p> <p>課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。</p> <p>【資料活用の技能】</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。</p> <p>得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身に付けているか。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>現代社会の政治、経済、社会、国際関係、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身に付けているか。また、学び方を身に付けているか。</p>

「倫理」 2 学年 年間学習指導計画

教科	公民	科目	倫理	単位	2 単位
----	----	----	----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①青年期における自己形成の課題について、現代の倫理的課題とともに理解と思索を深め、他者とともに生きる自己の在り方生き方について考える。</p> <p>②先哲の基本的な考え方の理解を手掛かりとして、人間の存在や価値に関わる課題について思索し、人生観・世界観・価値観などを形成し、自己の人格形成に努める実践的態度を育成する。</p> <p>③日本の伝統的な人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりの中で理解し、日本人としての在り方生き方について自覚を深める。</p> <p>④現代の倫理的課題や生徒の当面する課題について、先哲の考え方を学びつつ、倫理的な見方や考え方を身に付け、主体的に課題を解決していくための能力や態度を養う。</p> <p>⑤人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を涵養し、現代の倫理的課題を自己の課題と関連づけて探求し、論理的思考力や表現力を身に付けて、平和で民主的な社会の実現に寄与する態度を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「倫理」(倫理 311)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	青年期の課題と自己形成/人間としての自覚(1)
提出期限 6月15日	概要	<p>青年期の意義/青年期の課題と生き方/人間とは何か/ギリシャの思想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における青年期の位置づけ、特徴などについて考え、青年期特有の課題であるモラトリアムとしての時期、アイデンティティの確立、自己実現の追求、自己理解の方法などについて学ぼう。 ・人間の定義について考えた上で、パスカルの言葉を手掛かりに先人の思想を学ぶ意義について理解しよう。 ・ギリシャ思想は、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの生涯と思想を中心に理解します。また、その思想がどのように発展したのかを学習しよう。
第2回	単元名	人間としての自覚(2)
提出期限 7月15日	概要	<p>キリスト教/イスラーム/仏教/中国の思想/芸術と人間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の三大宗教であるキリスト教、イスラーム、仏教の基本的な考え方だけでなく、歴史的な成立過程や、発展、拡大の経緯についても理解しよう。 ・儒家、老荘思想を中心に学習し、その後の中国思想の展開についても理解を深めよう。 ・芸術(絵画・音楽など)の作品を通して、芸術家の考え方や生き方を学び、人間の心にもたらす豊かさや潤いなどに気づこう。
第3回	単元名	国際社会に生きる日本人の自覚
提出期限 8月15日	概要	<p>日本人の精神風土/仏教と日本人の思想形成/儒教と日本人の思想形成/国学の思想/庶民の思想/西洋思想と日本人の近代化/国際社会に生きる日本人の自覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代日本人のものの考え方を、精神風土との関係でとらえるとともに、宗教観・倫理観などについて考えよう。 ・外来思想である仏教の受容や日本的仏教の特色、仏教と日本人の思想形成との関わり、無常観・美意識・武士道などにおける特色をとらえる。 ・儒教の日本的展開について、日本の朱子学や陽明学、古学、古文辞学を中心に学習する。 ・国学の特色を理解して、本居宣長の思想を中心に学習する。 ・近世日本の思想について、町人の思想、農民の思想、幕末の思想、西洋文化との接触などを学習する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・西洋文化との接触後、啓蒙思想、自由民権思想、国家意識、キリスト教思想などと日本人の思想形成について理解しよう。 ・主体的に生きる人間として国際社会における役割と責任を果たす日本人としての自覚を形成する。
第4回	単元名	現代を生きる人間の倫理(1)
提出期限 10月15日	概要	<p>現代とはどういう時代か/人間の尊厳の根拠を求めて/民主社会と自由を求めて/社会変革の倫理を求めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会のさまざまな面を考察し、具体的な事例から、私たちを取り巻く状況について現状を把握する。 ・近代的な個人の自覚から、人間のあり方と社会との関係について、社会契約説（ホブズ、ロック、ルソー）、カント、ヘーゲルの思想を理解して、考えを深めよう。 ・近代資本主義社会の問題とその克服について、功利主義、社会主義の思想を理解して、考えを深めよう。
第5回	単元名	現代を生きる人間の倫理(2)
提出期限 11月15日	概要	<p>新たな人間像を求めて/自然や科学技術と人間とのかかわり/民主社会の成熟のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間や社会の在り方の急激な変化による近代的な理性への問いなおしとし、実存哲学、フランクフルト学派、構造主義など現代思想の人間観・言語観を理解する。 ・環境問題や生命に関わる倫理的課題の解決のために、科学技術の基礎にある自然観の再検討が必要であることを、生命への畏敬の念について考慮しつつ理解を深めよう。 ・民主社会の実現のために、あらゆる差別や偏見などの解決が求められること、またそれらとどのように関わっていくかを考える。
第6回	単元名	現代の課題を考える
提出期限 12月15日	概要	<p>生命/家族/地域社会/情報社会/文化と宗教/環境/国際平和と人類の福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の生命や死、医療の問題について理解を深め、人間としての在り方生き方について考えよう。 ・核家族、新しい家族形態、少子高齢化、高齢社会の中での「若い」などについて考えよう。 ・今日の地域社会のあり方について理解を深め、これからの望ましいコミュニティについて考えよう。 ・情報社会とは何か、その中でのメディア・リテラシーとはどうあるべきかなどを理解しよう。 ・現在の環境問題の基本概念をふまえ、倫理的課題を明確にし、持続可能な社会のために必要な在り方生き方について考えよう。 ・物質的に豊かな社会の背後にある問題をはじめとして、本当の豊かさとは何かを考え、未来の福祉と世界の平和を構想しようとする意識を高めよう。

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】青年期の課題と生き方</p> <p>【9月～10月実施】西洋思想と日本人の近代化</p> <p>【11月実施】人間の尊厳の根拠を求めて</p> <p>【12月～3月実施】地域社会</p> <p>【オンライン授業】社会変革の倫理を求めて/功利主義</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。 ・倫理的な諸課題についての探究的な態度を身につけ、人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ・良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。 ・課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で論理的に表現している。また、それについての確に反省し、自己評価することができる。 <p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己形成や人間としての在り方生き方、現代の論理的課題に関して様々な資料を収集、整理し、情報を主体的に選択している。 ・諸資料を自己形成のために主体的に活用し、追究した内容などを様々な方法で適切に表現している。また、それについての確に反省し、自己評価することができる。" <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期における自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題などに関した基本的な事柄を他者と共に生きる自己の確立の課題として理解している。 ・さらに、自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。
--

「政治経済」 3 学年 年間学習指導計画

教科	公民	科目	政治経済	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深める。</p> <p>②現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、現実の情勢を主体的に探究する態度を身につけさせる。</p> <p>③日本国憲法の基本原理、日本の政治機構などについて理解し、現代の政治の諸課題について考察を深める。</p> <p>④「法の支配」の意義について理解を深めるとともに、現実の社会における法の機能について学び、国民の司法参加の意義や課題について考察する。</p> <p>⑤現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに、国民経済の動向および、政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察する。</p> <p>⑥国際社会の現状と諸課題について理解し、国際社会に生きる日本の役割について考察する。</p> <p>⑦以上の理解や考察を踏まえて、現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけさせる。</p>
------	--

教科書	東京書籍「政治・経済」(政経 311)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第1回	単元名 民主政治の基本原理/日本国憲法の基本原理
提出期限 6月15日	概要 民主政治の成立/法の支配/基本的人権の確立/現代の民主政治/世界のおもな政治体制/日本国憲法の制定と基本原理/基本的人権の保障/平和主義 ・民主政治の基本原理について、その成り立ちを歴史的な観点から理解しよう。 ・人権の意義と歴史的経緯および人権の国際化の現状について理解しよう。 ・日本国憲法の成立過程と三大基本原理である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について歴史的な経緯を踏まえながら理解しよう。
第2回	単元名 日本の政治機構/現代政治の特質と課題
提出期限 7月15日	概要 国会と立法/内閣と行政/裁判所と司法/地方自治 ・国会が「国権の最高機関」とされることの意義と三権分立との関係を理解しよう。また、二院制を採用している意義と特徴および衆議院の優越がどのように機能しているかについて学習し、日本の国会の権限と課題について考察しよう。 ・民主政治における政党や利益集団の意義と役割について考察し、あわせて日本における政党の歴史的経緯について理解しよう。 ・世論の役割を考察し、世論形成に大きな影響を及ぼすマスメディアの現状とあり方について考えます。また、国民の政治参加の新たな動きについて考察しよう。
第3回	単元名 現代の国際政治/現代の資本主義経済
提出期限 8月15日	概要 国際政治の特質と課題/国際社会と国際法/国際連合の役割と課題/戦後国際関係の展開と日本/国際政治の課題/地球環境と資源・エネルギー問題/国際社会における日本の役割/資本主義体制の成立/資本主義経済の発展と変容 ・国際社会の成立過程と主権国家と国際法の関係について学習し、国際社会の新たな要素として登場してきた NGO の役割や国際社会と個人との関係について考えよう。 ・戦後の日本外交や安全保障の動きを理解し、今日の国際社会における日本の役割について考えよう。また、地球市民社会において個人として何ができるか、どう行動すべきかについて考察しよう。

		・現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯をへて成立しているのかを理解するとともに、資本主義経済の特徴や変遷および社会主義経済についても理解を深めよう。
第4回	単元名	現代の経済(1)
提出期限 10月15日	概要	現代経済のしくみ/日本経済の発展と産業構造の変化 ・経済主体と経済の循環/生産のしくみと企業/市場経済の機能と限界/国民所得と経済成長/金融のしくみと機能/財政のしくみと機能/経済再建から高度成長へ/オイルショック後の日本経済/日本経済の現状
第5回	単元名	現代の経済(2)
提出期限 11月15日	概要	福祉社会と日本経済の課題/国民経済と国際経済 ・公害と環境保全/消費者問題/農業・食料問題/中小企業の現状と課題/雇用と労働問題/社会保障と福祉/貿易と国際収支/国際経済体制の展開/発展途上国の経済/地域主義の動き/グローバル化する世界経済
第6回	単元名	現代社会の諸課題
提出期限 12月15日	概要	日本社会の諸課題/国際社会の諸課題 ・少子高齢社会において社会保障はどうあるべきか?/地域社会を活性化するにはどうすればよいか?/どのようにして若者の労働環境を改善するか?/中小企業の活路はどこに?/どうする? 日本の「食」と「農」/地球環境にやさしいエネルギーをどう確保するか?/経済援助は貧困を削減できるか?/パレスチナ問題とは何か?/地球社会で日本がなすべきことは何か?

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】現代の国際政治</p> <p>【9月～10月実施】現代の資本主義経済</p> <p>【11月実施】地球環境にやさしいエネルギーをどう確保するか?</p> <p>【12月～3月実施】雇用と労働問題</p> <p>【オンライン授業実施】現代経済のしくみ</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題や課題にかかわる事柄に関心を持ち、意欲的に探究しようとしているか。</p> <p>○社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけているか。</p> <p>○国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進をはかるため参加、協力する態度を身につけているか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる諸課題を考察し、それらの本質や特質、さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的、多角的に考察しているか。</p> <p>○社会の変化やさまざまな立場、考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。</p> <p>○課題についての考察や判断の過程や結果をさまざまな方法を駆使して適切に表現しているか。</p> <p>【資料活用の技能】</p> <p>○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題や重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し、有用な情報を適切に選択・活用することができるか。</p> <p>○得られた資料や情報を効果的に活用し、社会の諸問題を探究する学び方を身につけているか。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>○現代の政治、経済、社会、国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的、総合的に理解し、その知識を身につけているか。</p>
--

「数学 I」 1 学年 年間学習指導計画

教科	数学	科目	数学 I	単位/ 面接指 導時間	3 単位
----	----	----	------	-------------------	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	3 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
------	--

教科書	「改訂新数学 I」 (東書 数 I 319)
-----	------------------------

副教材	
-----	--

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
------	---

評価方法	添削指導 (年間 9 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価
------	------------------------------------

添削課題	単元名および概要	
第 1 回 提出期限 6 月 15 日	単元名	プレリユード (基礎の復習) / 整式 / 実数
	概要	<p>プレリユード (基礎の復習) / 文字を使った式 / 整式 / 整式の加法・減法 / 整式の乗法 / 乗法公式 / 因数分解 / 根号を含む式の計算 / 数の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、整式、同類項、整式の次数、n 次式など、式についての用語の意味を理解し、整式を整理するなかで、式についての見方を豊かにする。 整式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて整式を展開することができる。 乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。また、式の一部を 1 つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって整式を展開することができる。 分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。また、式の一部を 1 つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって因数分解することができる。 根号を含む式の基本的な計算をすることができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用する能力を伸ばす。 自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。
第 2 回 提出期限 7 月 15 日	単元名	方程式と不等式
	概要	1 次方程式 / 不等式 / 不等式の性質 / 不等式の解き方 / 不等式の利用 / 2 次方程式とその解き方

		<ul style="list-style-type: none"> ・1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。 ・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 ・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。 ・1次不等式を利用して、文章題を解決することができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解、解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	2次関数とそのグラフ
	概要	<p>関数/2次関数とそのグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数の概念の理解を確実にし、また、1次関数のグラフをかくことができる。 ・具体的な事象から、2次関数の概念を理解して、2次関数のグラフの特徴を学ぶ。また、2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x-p)^2 + q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	2次関数の値の変化(1)
	概要	<p>2次関数の最大値・最小値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。また、それを利用して文章題を解決することができる。
第5回 提出期限 9月15日	単元名	2次関数の値の変化(2)
	概要	<p>2次関数のグラフと2次方程式/2次関数のグラフと2次不等式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解し、グラフとx軸の共有点のx座標を求めることができる。また、式の見方を豊かにするとともに、グラフを活用することのよさを認識する。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができる。
第6回 提出期限 10月15日	単元名	三角比(1)
	概要	<p>三角形/タンジェント/サインとコサイン/三角比の利用/三角比の相互関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・直接測ることができない長さなどが相似な直角三角形の辺の比を使って求められることから、正接の意味を理解する。 ・正弦、余弦の意味を理解する。また、30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表の利用の仕方を学習し、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。また、三角比を利用して具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識する。 ・三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。また、$90^\circ - A$の三角比の値を求めることができる。 			
第7回 提出期限 11月15日	<table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>三角比(2)</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td> 三角形の面積／正弦定理／余弦定理／三角比と座標／三角比の相互関係／鈍角の三角比と計量 <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・三角形の角の正弦の値と対応する辺の長さとの関係、さらに外接円の半径との関係を調べて、正弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に正弦定理を有効に活用することができる。 ・三角形の角の余弦の値と辺の長さとの関係を調べて、余弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に余弦定理を有効に活用することができる。 ・座標を用いて三角比を考え、鈍角や0°、90°、180°まで拡張した三角比の意味を理解する。 ・角が鈍角の場合も、三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ - \theta$の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理が成り立つことを確認する。また、空間図形において、その中に含まれる三角形に着目し、三角比や定理等を有効に活用して、図形の計量の問題を解決することができる。 </td> </tr> </table>	単元名	三角比(2)	概要	三角形の面積／正弦定理／余弦定理／三角比と座標／三角比の相互関係／鈍角の三角比と計量 <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・三角形の角の正弦の値と対応する辺の長さとの関係、さらに外接円の半径との関係を調べて、正弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に正弦定理を有効に活用することができる。 ・三角形の角の余弦の値と辺の長さとの関係を調べて、余弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に余弦定理を有効に活用することができる。 ・座標を用いて三角比を考え、鈍角や0°、90°、180°まで拡張した三角比の意味を理解する。 ・角が鈍角の場合も、三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ - \theta$の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理が成り立つことを確認する。また、空間図形において、その中に含まれる三角形に着目し、三角比や定理等を有効に活用して、図形の計量の問題を解決することができる。
単元名	三角比(2)				
概要	三角形の面積／正弦定理／余弦定理／三角比と座標／三角比の相互関係／鈍角の三角比と計量 <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・三角形の角の正弦の値と対応する辺の長さとの関係、さらに外接円の半径との関係を調べて、正弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に正弦定理を有効に活用することができる。 ・三角形の角の余弦の値と辺の長さとの関係を調べて、余弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に余弦定理を有効に活用することができる。 ・座標を用いて三角比を考え、鈍角や0°、90°、180°まで拡張した三角比の意味を理解する。 ・角が鈍角の場合も、三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ - \theta$の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理が成り立つことを確認する。また、空間図形において、その中に含まれる三角形に着目し、三角比や定理等を有効に活用して、図形の計量の問題を解決することができる。 				
第8回 提出期限 11月15日	<table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>集合と論証</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td> 集合／命題と集合／命題と証明 <ul style="list-style-type: none"> ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連づけて理解する。 ・命題の逆、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を養う。 </td> </tr> </table>	単元名	集合と論証	概要	集合／命題と集合／命題と証明 <ul style="list-style-type: none"> ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連づけて理解する。 ・命題の逆、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を養う。
単元名	集合と論証				
概要	集合／命題と集合／命題と証明 <ul style="list-style-type: none"> ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連づけて理解する。 ・命題の逆、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を養う。 				
第9回 提出期限 12月15日	<table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>データの分析</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td> データと度数分布表／代表値／四分位数と箱ひげ図／分散と標準偏差／相関関係／相関係数 <ul style="list-style-type: none"> ・データの特徴をとらえやすくするために、度数分布表、ヒストグラム、相対度数分布表に表すことを考え、データを整理する有用性に気づく。 </td> </tr> </table>	単元名	データの分析	概要	データと度数分布表／代表値／四分位数と箱ひげ図／分散と標準偏差／相関関係／相関係数 <ul style="list-style-type: none"> ・データの特徴をとらえやすくするために、度数分布表、ヒストグラム、相対度数分布表に表すことを考え、データを整理する有用性に気づく。
単元名	データの分析				
概要	データと度数分布表／代表値／四分位数と箱ひげ図／分散と標準偏差／相関関係／相関係数 <ul style="list-style-type: none"> ・データの特徴をとらえやすくするために、度数分布表、ヒストグラム、相対度数分布表に表すことを考え、データを整理する有用性に気づく。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。 ・データの分布の特徴を表す値として、代表値だけでは不十分であることから、中央値をもとにした四分位数、四分位範囲を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる。 ・データの分布の特徴を表す値として、代表値だけでは不十分であることから、平均値をもとにした分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 ・2つの変量の組の値を散布図に表すことによって、2つの変量の相関関係が調べられることを理解する。 ・散布図による相関関係を相関係数により数値化し、相関の強さが表せる有効性を認識する。
--	--

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>1章 数と式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式とその解き方 <p>2章 2次関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の値の変化 <p>4章 集合と論証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命題と証明 <p>3章 三角比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比 <p>5章 データの分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表値 <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 高等教育における数学の基礎知識とその応用方法を網羅的に身につける。 身につけた知識を実際に用いながら、日常生活における課題の解決方法を考えることができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 数学を学び・考える活動を通じて数学的・演繹的思考力を向上させる。 他者と共同しながら問題解決を図ることで、論理的に考えたり発言したりする力を養う。 身につけた知識を、日常でどう活かせば良いか判断する力を身につける。</p> <p>【知識・理解】 【技能】 数学を学習する必要性を理解することで、継続的に学習し続ける意欲を育む。 学習における留意点を把握し、長期的に見て効果的な学習ができる態度を身につける。</p>

「数学Ⅱ」 全学年 年間学習指導計画

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位	4単位
----	----	----	-----	----	-----

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1単位時間 50分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6割減免後) ※1単位時間 50分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40分 1コマ換算	80分
-----------------------------------	---------------	----------------------------------	-----------------	----------------------------	-----

学習目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数および微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
------	--

教科書	「改訂 新数学Ⅱ」 (東書 数Ⅱ319)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより，生徒は自宅等において，パソコン，スマートフォン，タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間 12 回) ，試験 (年間 1 回) ，面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	整式・分数式の計算
提出期限 6月15日	概要	3次の乗法公式と因数分解／二項定理／分数式とその計算 ・3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し，それらの公式が利用できるようなろう。 ・パスカルの三角形を考察し，二項定理が利用できるようなろう。 ・整式の商にあたる分数式とその約分と通分，四則演算について理解しよう。
第 2 回	単元名	2次方程式
提出期限 6月15日	概要	複素数／2次方程式／解と係数の関係 ・虚数単位を理解するとともに，数を実数から複素数に広げることに興味をもち，従来解けなかった2次方程式にも解があることを理解しよう。さらに，複素数の演算や共役な複素数について理解しよう。 ・複素数を導入したことで，すべての2次方程式を解くことができ，判別式について理解しよう。 ・2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ，2次方程式への理解を深めよう。
第 3 回	単元名	高次方程式／式と証明
提出期限 7月15日	概要	整式の除法／因数定理／高次方程式／等式の証明／不等式の証明 ・簡単な整式の除法について理解しよう。 ・剰余の定理や因数定理について理解し，これらを整式の除法や因数分解などに用いたり，活用したりすることができるようなろう。 ・高次方程式の定義について理解し，因数分解による解法，および因数定理を利用した解法について理解しよう。 ・恒等式の意味を理解し，論証について簡単な等式の証明の手順を通して理解しよう。 ・不等式の性質を理解し，それを用いて証明することができるようなろう。
第 4 回	単元名	座標と直線の方程式
提出期限 7月15日	概要	直線上の点の座標／平面上の点の座標／直線の方程式／2直線の関係 ・座標を利用しての数直線上の2点間の距離，および内分，外分の意味を理解しよう。

		<ul style="list-style-type: none"> 座標平面の約束, および平面上の2点について, 距離, 内分点, 外分点の座標の求め方, 内分の代表的な応用として三角形の重心の座標について理解しよう。 1点と傾き, あるいは2点が与えられたときの直線の方程式の求め方を理解しよう。 2直線の交点が方程式を連立して求められること, および, 平行・垂直な直線の方程式がどのような関係式で与えられるかを理解しよう。
第5回	単元名	円の方程式/不等式の表す領域
提出期限 8月15日	概要	<p>円の方程式/円と直線/不等式の表す領域/連立不等式の表す領域</p> <ul style="list-style-type: none"> 円の定義をもとに方程式を立てること, また, 円の方程式の一般形から中心の座標と半径を求めることができるようになる。 円と直線の位置関係が3通りあること, およびそれらが2式を連立させてできる2次方程式の判別式の符号で決まることを理解しよう。 直線や円によって区切られる領域は, 不等式によって表され, その境界が方程式を満たす点であることを理解しよう。 集合の共通部分の考えを使って, 連立不等式で表される領域を考察しよう。
第6回	単元名	三角関数
提出期限 8月15日	概要	<p>一般角/三角関数/三角関数の相互関係/三角関数のグラフ/三角関数の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> 回転量としての角度の扱いに興味をもち, 360°以上, および負の角度について理解しよう。 180°以上, および負の角度に対する三角比を求めることができ, それらを関数としてとらえることができるようになる。 任意の角度に対しても, 相互関係が成り立つことを理解しよう。 三角関数のグラフの特徴を理解し, そのグラフをかきことができるようになる。
第7回	単元名	加法定理
提出期限 9月15日	概要	<p>加法定理</p> <ul style="list-style-type: none"> 加法定理/加法定理の応用/弧度法
第8回	単元名	指数関数
提出期限 9月15日	概要	<p>指数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数の拡張/累乗根/指数関数とそのグラフ
第9回	単元名	対数関数
提出期限 10月15日	概要	<p>対数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 対数/対数の性質/対数関数とそのグラフ/常用対数/底の変換公式
第10回	単元名	微分係数と導関数
提出期限 10月15日	概要	<p>微分係数と導関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均変化率/微分係数/導関数/接線
第11回	単元名	導関数の応用
提出期限 11月15日	概要	<p>導関数の応用</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数の増加・減少/関数の極大・極小/関数の最大・最小
第12回	単元名	積分
提出期限 12月15日	概要	<p>積分</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分/定積分/面積/放物線と直線で囲まれた図形の面積

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>1章 方程式・式の証明</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数・二項定理 <p>4章 指数関数と対数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数 <p>5章 微分と積分</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分 <p>5章 微分と積分</p> <ul style="list-style-type: none"> 積分 <p>3章 三角関数</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p>

2. 単元目標

【関心・意欲・態度】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、他者との議論に参加しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【思考・判断・表現】

定義から理解することの重要性を知る。

頭の中でイメージを膨らませながら考えることにより、思考力の向上を図る。

他者と課題解決について議論することで、論理的思考力を養う。

【知識・理解】 【技能】

基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

関数の動きをイメージし、有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位	5 単位
----	----	----	-----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	5 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	---------------	------------------------------	-------

学習目標	平面上の曲線，複素数平面，極限，微分法および積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。
------	---

教科書	「新編数学Ⅲ」 (東書 数Ⅲ302)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間 15 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	平面上の曲線(1)
提出期限 6 月 15 日	概要	2 次曲線 ・放物線の幾何学的な定義を理解する。また，放物線の焦点，準線などについて理解する。さらに，2 次関数のグラフが放物線であることを理解しよう。
第 2 回	単元名	平面上の曲線(2)
提出期限 6 月 15 日	概要	媒介変数表示と極座標 ・曲線の媒介変数表示を理解しよう。
第 3 回	単元名	複素数平面(1)
提出期限 7 月 15 日	概要	複素数平面 ・複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また，複素数平面上における複素数の和・差・実数倍とベクトルの和・差・実数倍の関係を理解しよう。
第 4 回	単元名	複素数平面(2)
提出期限 7 月 15 日	概要	複素数の応用 ・ド・モアブルの定理を理解しよう。
第 5 回	単元名	関数と極限(1)
提出期限 8 月 15 日	概要	関数 ・分数関数のグラフの特徴を理解しよう。
第 6 回	単元名	関数と極限(2)
提出期限 8 月 15 日	概要	数列の極限 ・数列の収束，発散および極限の基本的な性質について理解し，数列の極限を求めることができるようにしよう。
第 7 回	単元名	関数と極限(3)

提出期限 9月15日	概要	関数の極限 ・関数の極限の性質を理解し、基本的な関数の極限を調べることができるようにしよう。
第8回	単元名	微分(1)
提出期限 9月15日	概要	微分法 ・導関数の定義にしたがって、基本的な関数の導関数を求めることができるようにしよう。また、導関数の基本的な性質を理解しよう。
第9回	単元名	微分(2)
提出期限 10月15日	概要	いろいろな関数の導関数 ・三角関数の加法定理から導かれる積を和・差に、和・差を積になおす公式を理解しよう。また、三角関数の導関数について理解し、三角関数を含む関数の導関数を求めることができるようにしよう。
第10回	単元名	微分の応用(1)
提出期限 10月15日	概要	接線、関数の増減 ・曲線の接線の方程式および法線の方程式を求めることができるようにしよう。
第11回	単元名	微分の応用(2)
提出期限 11月15日	概要	いろいろな微分の応用 ・微分法を用いて、関数の最大値、最小値を求めることができるようにしよう。
第12回	単元名	積分とその応用(1)
提出期限 11月15日	概要	不定積分 ・不定積分の基本的な性質・公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができるようにしよう。
第13回	単元名	積分とその応用(2)
提出期限 12月15日	概要	定積分 ・定積分の値を計算することができるようにしよう。
第14回	単元名	積分とその応用(3)
提出期限 12月15日	概要	定積分の応用(1) ・いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解しよう。また、その値を計算することができるようにしよう。
第15回	単元名	積分とその応用(4)
提出期限 12月15日	概要	定積分の応用(2) ・区分求積法について関心を持ち、その考え方を理解する。また、区分求積法により面積を求めることができるようにしよう。

面接指導計画

1. 単元名 3章 関数と極限 2節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 数列 $\{r_n\}$ の極限 3. 無限級数 3章 関数と極限 3節 関数の極限 1. 関数の極限 2章 複素数平面 1節 複素数平面 1 複素数平面 5章 微分の応用 1節 関数の増減 2 平均値の定理 3 関数の増減 4 関数の極大・極小 5 第2次同関数とグラフ 2節 いろいろな微分の応用 2 方程式、不等式への応用
--

1章 平面上の曲線

1節 2次曲線

1 放物線

2 楕円

3 双曲線

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・極座標の意味、極座標と直交座標の関係などについて理解させるとともに、数学Ⅱまでの内容では表現できない平面図形や曲線について考えようとする態度を育成する。（平面上の曲線）
- ・複素数の四則演算が平面上の図形の移動などどのように関連付けられるかを考えようとする態度を育成する。（複素数平面）
- ・「数学Ⅱ」の微分係数を求める過程で学習した極限値を拡張させ、微積分の基礎を培う観点から極限やの直観的に理解しようとする態度を育成する。（関数と極限）
- ・微分法の有用性を認識させるとともに、微分法を速度・加速度などの日常生活にも活用できることに関心を持つ姿勢を育成する。（微分的应用）

【思考・判断・表現】

- ・幾何学的な定義や媒介変数を用いた式や極方程式などを基に、数学的事象の考察に活用することができる力を育成する。（平面上の曲線）
- ・「数学B」の「ベクトル」と複素数の図表示を関連づけ、複素数の四則演算が平面上の図形の移動などと関連付けて表現する力を育成する。（複素数平面）
- ・無限級数の収束・発散や数列の極限について理解させるとともに、それらを数理的事象の考察に活用する力を育成する。（関数と極限）
- ・導関数に関する知識・理解を活用し、数理的事象を考察・判断する力を育成する。（微分的应用）

【知識・理解】 【技能】

- ・二次曲線や楕円、双曲線などの基礎的・基本的な性質を習得させるとともに、軌跡などの数学的事象に対して解析幾何学的な観点からの考察をする力を育成する。（平面上の曲線）
- ・複素数平面上の各点が複素数を表していることを理解する。また、複素数の四則演算を基にして、共役な複素数や絶対値の性質を根拠を明確にして証明できる力を育成する。（複素数平面）
- ・数列と関数の極限や関数の連続性などの概念について理解させるとともに、既習の内容と関連づけさまざまな関数に対して多角的・多面的に考察する力を育成する。（関数と極限）
- ・「数学Ⅱ」の微分積分を既習の内容を拡張し、関数の四則演算や三角関数、指数関数、対数関数の導関数について理解する。また、これらを活用し、接線の方程式、関数値の増減、極大・極小、凹凸などを求められる力を育成する。（微分的应用）

「数学 A」 2 学年 年間学習指導計画

教科	数学	科目	数学A	単位	2 単位
----	----	----	-----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>場合の数・確率 集合や事象の概念を理解させ、数的思考を養い、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>図形の性質 基本的な作図や図形の性質から平面図形や空間図形について理解を深め、それらを現実の問題解決に活用しようとする態度を育てる。</p> <p>整数の性質 基本的な知識の習得と習熟を図り、事象を数学的に思考し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方を認識できるようにする。</p>
------	---

教科書	「改訂新数学 A」 (東書 数A319)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間 6 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	場合の数
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>集合／集合の要素の個数／和の法則と積の法則／順列／順列の利用／重複順列／円順列／組合せ／組合せの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 部分集合, 全体集合, 補集合, 共通部分, 和集合などの集合の表し方, 用語, 記号を, 図を用いて理解し, 記号を使って表すことができる。 補集合, 和集合について, 集合の要素の個数を求めることができる。 和の法則や積の法則について, 具体例を用いて理解し, 場合の数を効率よく求めることができる。 樹形図を利用して順列の意味を理解し, 公式を用いて基本的な順列の総数を求めることができる。 組合せの意味や性質を理解し, 公式を用いて基本的な組合せの総数を求めることができる。 組合せの考え方をいろいろな場面に利用して, 組合せの総数を求めることができる。
第 2 回	単元名	確率(1)
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>確率の意味／確率の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行と事象, 事象の確率について学び, 確率の意味を知り, 基本的な確率を求めることができる。 場合の数をもとに, 確率を求めることができるようになる。また, 確率の加法定理を理解し, 排反事象に分けて確率を求めること, さらに余事象を利用して確率を求めることができる。
第 3 回	単元名	確率(2)
提出期限 8 月 15 日	概要	<p>独立な試行の確率／反復試行の確率／条件つき確率</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の確率が積の法則により求められことを理解し, 簡単な独立な試行の確率を求めることができる。 反復試行について理解し, 簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。 条件つき確率の意味を理解しよう。また, 確率の乗法定理を理解し, 活用できる。
第 4 回	単元名	図形の性質(1)
提出期限	概要	<p>三角形と角／三角形と比／三角形の重心・外心・内心／角の二等分線と線分の比／円周角の定理／円に内接する四角形</p>

10月15日		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだ平行線と角の関係、三角形の角の性質、三角形の相似条件を確認し、これらを利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形と比の定理と、その特別な場合の midpoint 連結定理を理解し、それらを利用して、線分の長さを求めることができる。 ・三角形の中線、辺の垂直二等分線、角の二等分線の性質を考察し、三角形の重心、外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いることができる。 ・円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を利用して、4点が同一円周上にあるかどうかを判断できる。 ・円に内接する四角形の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうかを判断できる。
第5回	単元名	図形の性質(2)
提出期限 11月15日	概要	<p>円と直線／接線と弦のつくる角／方べきの定理／2つの円／基本の作図／いろいろな作図／直線や平面の位置関係／多面体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。 ・接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。 ・円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求めるなどして、図形に対する能力をさらに伸ばす。 ・2つの円の位置関係と、2つの円に共通する接線の数について考察し、図形に対する見方を豊かにする。 ・垂直二等分線、垂線、角の二等分線の作図方法を理解し、その作図ができる。 ・図形の性質を利用した平行線の作図や内分点の作図方法を理解し、作図の有用性を認識する。 ・2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解する。 ・多面体、正多面体を理解し、オイラーの多面体定理に触れ、空間図形に対する見方を豊かにする。
第6回	単元名	整数の性質
提出期限 12月15日	概要	<p>約数と倍数／最大公約数と最小公倍数／ユークリッドの互除法／方程式の整数解／分数と小数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。 ・最大公約数、最小公倍数の求め方を理解し、これを利用して、問題を解決することができる。また、最大公約数と最小公倍数の関係を理解する。 ・図、式を用いて、ユークリッドの互除法を理解する。また、これを利用して、大きな数どうしの最大公約数を求めることにより、ユークリッドの互除法の有用性を認識する。 ・整数値を解にもつ方程式について理解し、2元1次不定方程式を解くことができる。 ・有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。 ・2進法の仕組みを理解する。また、2進法と10進法の変換をしたり、2進法の計算をしたりすることにより、数に対する見方を豊かにする。

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>1章 場合の数と確率</p> <p>1節 場合の数</p> <p>1 集合</p> <p>1章 場合の数と確率</p> <p>2節 確率</p> <p>1 確率の意味</p> <p>2 確率の計算</p> <p>3 独立な試行の確率</p> <p>3章 整数の性質</p> <p>2節 整数の性質の応用</p> <p>1 方程式の整数解</p> <p>3章 整数の性質</p> <p>2節 整数の性質の応用</p> <p>3 2進法</p> <p>1章 場合の数と確率</p> <p>2節 確率</p> <p>4 反復試行の確率</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>
--

数学的活動を通して、確率や整数の性質における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを日常生活に活用できるよう数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

【思考・判断・表現】

さまざまな事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えられる態度を育む。数学的活動を通して、創造性の基礎を培うとともに、他者と共同しながら問題解決にあたることで、論理的に思考したり説明したりする力を養う。

【知識・理解】 【技能】

確率や整数の性質における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解し、高等教育における数学の基礎知識を知識を身に付ける。数学的活動を通して、日常生活における数学の活用方法を身につけ、創造性の基礎を培う。

「数学B」 全学年 年間学習指導計画

教科	数学	科目	数学B	単位	2単位
----	----	----	-----	----	-----

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1単位時間 50分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6割減免後) ※1単位時間 50分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40分 1コマ換算	80分
-----------------------------------	---------------	----------------------------------	-----------------	----------------------------	-----

学習目標	確率分布と統計的な推測，数列またはベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。
------	---

教科書	「新数学B」 (東書 数B318)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間6回)、試験 (年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	数列(1)
	概要	<p>数列</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の概念および数列についての基本的な用語の意味を理解しよう。 等差数列について関心を深め、一般項 a_n を初項 a、公差 d を使って表せることを理解する。また、等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち、それが n を用いて表せることを理解しよう。 等比数列について関心を深め、一般項 a_n を初項 a、公比 r を使って表せることを理解する。また、等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち、それが n を用いて表せることを理解しよう。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	数列(2)
	概要	<p>いろいろな数列/漸化式と数学的帰納法</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号 Σ の意味と性質を理解し、自然数の累乗の和を Σ を用いて表そう。 階差数列から一般項を求めたりすることを覚えよう。 数列の帰納的定義について理解し、漸化式を扱うことを学ぼう。 数学的帰納法について理解し、等式などの証明に利用しよう。
第3回 提出期限	単元名	ベクトル(1)

8月15日	概要	<p>平面上のベクトル／ベクトルの成分表示と内積／ベクトルの応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面上のベクトルの考えを理解し，ベクトルに関する基本的な用語・記号を習得しよう。 ・ベクトルの加法・減法および実数倍について理解し，それらの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを確かめる。また，ベクトルの平行・分解について理解しよう。 ・成分表示されたベクトルの和・差・実数倍がどうなるか理解しよう。 ・ベクトルの考えを利用して，図形に関する問題について考察しよう。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	ベクトル(2)
	概要	<p>ベクトルの応用 /空間におけるベクトル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置ベクトル／ベクトルの図形への応用／ベクトル方程式
第5回 提出期限 11月15日	単元名	確率分布と統計的な推測(1)
	概要	<p>確率分布／統計的な推測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率変数，確率分布の意味を理解しよう。また，確率分布を求めよう。 ・母平均の推定の考えを理解しよう。また，信頼度 95%の信頼区間という考え方を理解し，信頼区間を計算しよう。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	確率分布と統計的な推測(2)
	概要	<p>確率分布／統計的な推測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率変数，確率分布の意味を理解しよう。また，確率分布を求めよう。 ・母平均の推定の考えを理解しよう。また，信頼度 95%の信頼区間という考え方を理解し，信頼区間を計算しよう。

面接指導計画

<p>1. 単元名 1章 数列 2節 いろいろな数列 1 いろいろな数列の和 1章 数列 3節 漸化式と数学的帰納法 2 数学的帰納法 3章 確率分布と統計的な推測 1節 確率分布 6 連続した値をとる確率変数の分布 7 正規分布 8 二項分布と標準正規分布 3章 確率分布と統計的な推測</p>
--

2 節 統計的な推測

1 母集団と標本

2 標本平均の分布

2 章 ベクトル

1 節 平面上のベクトル

2 節 ベクトルの成分表示と内積

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・数列の中の隣接項や初項、末項の性質や特徴を正しくとらえ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えようとする態度を育てる。(数列)
- ・ベクトルに関心を持つとともに、事象の考察に空間のベクトルを活用して数学的論拠に基づいて判断する力を育てる。(ベクトル)
- ・確率変数とその分布、統計的な推測を応用し、不確定な事象の考察に活用しようとする態度を育てる。(確率分布と統計的な推測)

【思考・判断・表現】

- ・数列の中の隣接項や初項、末項の性質や特徴を正しくとらえ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。(数列)
- ・事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、空間のベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につける。(ベクトル)
- ・課題に対して、確率分布や正規分布などを用いて、適切に処理するとともに、数学的によりよく表現する力を身につける。(確率分布と統計的な推測)

【知識・理解】 【技能】

- ・数列における基本的な概念・原理・法則、用語や記号などを理解し、基礎的な知識を身につける。また、数列の一般項やシグマ、漸化式を用いた数値計算を通して、事象を数学的に考察し、表現する力を身につける。(数列)
- ・ベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。また、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える力を身に付けている。(ベクトル)
- ・確率統計における基本的な概念・原理・法則、用語などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、それらを活用し、数学的な推測をする力を身につける。(確率分布と統計的な推測)

「科学と人間生活」 1 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位	2 単位
----	----	----	---------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。</p> <p>②身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める。</p> <p>③科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>④科学に対する興味・関心を高める。</p> <p>⑤科学技術の在り方について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身につける。</p>
------	--

教科書	東京書籍『科学と人間生活』（科人 306）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	科学技術の発展
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>私と社会と未来の科学/いつでもどこでも情報を/人と街が通信でつながる/交通の発展とその課題/クルマと家と街がつながる/ロボットがひらく未来/東日本大震災の教訓を活かして/未来に向けた私たちの課題/自然を活かし、自然に学ぶものづくり</p> <p>【私と社会と未来の科学】</p> <p>【いつでもどこでも情報を】</p> <p>【人と街が通信でつながる】</p> <p>【交通の発展とその課題】</p> <p>【クルマと家と街がつながる】</p> <p>【ロボットがひらく未来】</p> <p>【東日本大震災の教訓を活かして】</p> <p>【未来に向けた私たちの課題】</p> <p>【自然を活かし、自然に学ぶものづくり】</p>
第 2 回	単元名	生物と光
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>植物の生育と光/光シグナルと生物/ヒトの視覚と光</p> <p>【植物の生育と光】 光合成色素を調べよう/光合成速度を調べよう</p> <p>【光シグナルと生物】 アルテミアを用いた光走性の観察/乾燥ウミホタルを用いた生物発光の観察</p> <p>【ヒトの視覚と光】 盲斑の検出/ブタの眼球の解剖/瞳孔の光反射の実験/立体的に見える横断歩道を描こう</p>
第 3 回	単元名	材料とその再利用
提出期限 8 月 15 日	概要	<p>金属/プラスチック/資源の再利用</p> <p>【金属】 金属の性質を調べよう/銅の酸化物から銅を取り出そう/銅を金色にしよう</p> <p>【プラスチック】 プラスチックを分類しよう/尿素樹脂を合成しよう</p> <p>【資源の再利用】</p>
第 4 回	単元名	光や熱の科学

提出期限 10月15日	概要	光の性質とその利用 ・目に見える光の世界／光の進み方とその基本的性質／見えない光とその応用
第5回	単元名	宇宙や地球の科学
提出期限 11月15日	概要	身近な天体と太陽系における地球 ・天体が刻む「時」／太陽系の構造／太陽が動かす大気と水
第6回	単元名	課題研究
提出期限 12月15日	概要	イカの色素胞と発行細菌の研究／クモの糸の性質の研究／風力発電に関する調査／身のまわりの災害と防災 ・課題研究の実践と報告の例／課題研究のテーマと研究方法の例

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】科学技術の発展・微生物とその利用 【9月～10月実施】材料とその再利用 【11月実施】光の性質とその利用・熱の性質とその利用 【12月～3月実施】太陽と地球・自然災害 【オンライン授業実施】電磁波の利用・空気の性質と大気現象 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・理解】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>【関心・意欲・態度】 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p>【観察・実験の技能】 科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p>
--

「物理基礎」 全学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	物理基礎	単位	2単位
----	----	----	------	----	-----

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1単位時間 50分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6割減免後) ※1単位時間 50分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40分 1コマ換算	160分
-----------------------------------	---------------	----------------------------------	-----------------	----------------------------	------

学習目標	<p>①物理学が日常生活や社会とどのように関連しているかを知り、物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。</p> <p>②目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につける。</p> <p>③物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。</p> <p>④科学技術の在り方やエネルギー問題について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身につける。</p>
------	---

教科書	東京書籍 『改訂 新編物理基礎』(物基 312)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	直線運動の世界
提出期限 6月15日	概要	<p>速さ/速度/等速直線運動/合成速度と相対速度/加速度/等加速度直線運動/自由落下/鉛直投射/放物運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動を測定し、その運動を変位-時間のグラフや、速度-時間のグラフで表すことなどを通して、変位や速度などの物体の運動の基本的な表し方について理解しよう。 同一直線上を等速直線運動している物体の合成速度や相対速度について理解しよう。 物体が直線上を運動する場合の加速度について理解し、グラフや式を使って物体の運動を分析できるようになろう。 物体が空中を落下する際の運動の特徴、及び物体にはたらく力と運動の関係について理解し、鉛直の落下運動、水平投射、斜方投射について式を使って扱えるようになるろう。
第2回	単元名	力と運動の法則(1)
提出期限 7月15日	概要	<p>力とは/力のつり合い/力の合成と分解/運動の第1法則/力と質量と加速度の関係/運動の第2法則/運動の第3法則</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体にはたらく様々な力を見抜いてベクトルで表す方法を身につけるとともに、それらの力がつり合う条件を見いだせるようになるろう。 直線運動を中心に慣性の法則、運動の第2法則、作用・反作用の法則について理解しよう。さらに、これらの法則を用いて物体にはたらく力と運動との関係を分析できるようになるろう。
第3回	単元名	力と運動の法則(2)/仕事とエネルギー(1)
提出期限 8月15日	概要	<p>【力と運動の法則】 摩擦力/抵抗力と浮力</p> <p>【仕事とエネルギー】 仕事の原理と仕事率</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーを測るものさしとしての仕事の定義、及び仕事の原理と仕事率について理解しよう。
第4回	単元名	仕事とエネルギー(2)/熱
提出期限 10月15日	概要	<p>重力による位置エネルギー/弾性力による位置エネルギー/運動エネルギー/運動エネルギーと仕事/力学的エネルギーの保存/振り子の速度/いろいろな運動でみる力学的エネルギー/熱と温度/ブラウン運動/物質の三態/熱の移動と保存/熱と仕事/発火実験/熱効率と不可逆変化</p>

第5回	単元名	波(1)
提出期限 11月15日	概要	いろいろな波／波の伝わり方／波を表す／波の重ね合わせ／波の反射／定常波／定常波の実験／音の伝わり方／振動する弦／振動する気柱／気柱の共鳴実験
第6回	単元名	波(2)/電気
提出期限 12月15日	概要	身のまわりで見られる波特有の現象／電気のはたらき／電流と電気抵抗／ニクロム線の電気抵抗／回路での電流の流れ方／電力と電力量／電流がつくる磁界／モーターのしくみ／発電機のしくみ／直流と交流／電磁波／赤外線の観察／エネルギーの変換と保存／エネルギーの利用／放射線の利用／放射線の観測／原子力の利用

面接指導計画

<p>1. 単元名 【4月～8月実施】 力、力学的エネルギー 【9月～10月実施】 熱力学 【11月実施】 波動 【12月～3月実施】 電磁気学 【オンライン授業実施】 エネルギー ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標 関心・意欲・態度 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 思考・判断・表現 日常に存在する物理現象のなかに力、仕事やエネルギーに関する問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。 観察・実験の技能 日常生活や社会との関連を図りながら、力、運動エネルギーと位置エネルギーについて、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 知識・理解 日常生活や社会との関連を図りながら、力、運動エネルギーと位置エネルギーについて仕事と関連付けて基本的な概念や法則を理解している。</p>

「物理」 全学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	物理	単位	4 単位
----	----	----	----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	16 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	6.4 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	320 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①物理的な事物・現象に対する探究心を高める。</p> <p>②目的意識をもって観察・実験などを行い，物理的に探究する能力と態度を身につける。</p> <p>③物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を身につける。</p> <p>④科学技術の在り方について意思決定するために必要な，科学的な見方や考え方を身につける。</p>
------	--

教科書	【改訂 物理】 (物理 308)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間 12 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	さまざまな運動 (1)
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>剛体にはたらく力のつり合い／平面上の運動と放物運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面内で剛体にはたらく力と力のモーメントがつり合う条件について，実験を通して理解する。また，日常生活とのかかわりの中で，防災などの観点から，物体の重心，関連して物体が転倒しない条件などについて理解しよう。 ・平面内の運動を表す変位，速度，加速度がベクトルで表されることを理解する。また，平面内の運動の合成速度，相対速度について理解しよう。
第 2 回	単元名	さまざまな運動 (2)
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>円運動と万有引力／単振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円運動する物体の様子を表す方法やその物体に働く力として，等速円運動の速度，周期，角速度，向心加速度及び向心力について理解する。また，観測者が加速度運動をするときの慣性力や円運動での遠心力について理解しよう。 ・観察や実験，作図などによって単振動と等速円運動を関連付けて理解する。また，単振動をする物体の位置，速度，加速度の表し方を学び，ばね振り子と単振り子を例にして，単振動をする物体には変位に比例する大きさの復元力が働くことを理解しよう。
第 3 回	単元名	さまざまな運動 (3)
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>運動量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積がベクトルで表される量であり，物体の運動量の変化が物体に働く力積に等しいことを理解しよう。
第 4 回	単元名	さまざまな運動 (4)
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>気体分子の運動と圧力／気体の状態変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想気体について，ボイルの法則やシャルルの法則を含めた気体の状態方程式を理解する。また，気体分子の速さや平均の運動エネルギーと気体の圧力，絶対温度 (熱力学温度) の関係について理解しよう。 ・気体の状態変化における熱，仕事及び内部エネルギーの関係について理解しよう。
第 5 回	単元名	波 (1)

提出期限 8月15日	概要	波の性質／音 ・波の伝わり方として、ホイヘンスの原理、水面波の反射・屈折及び屈折率について理解する。また、波の表し方として、波の式及び位相について理解しよう。 ・実験などを通して、音の干渉、回折及び屈折について理解しよう。
第6回	単元名	波(2)
提出期限 8月15日	概要	光 ・光の反射、屈折、分散、偏光、速さ、波長などについて、観察、実験を通して理解する。また、偏光板やプリズムを用いた光の観察などを通して、光は横波であることや、光のスペクトルについて理解しよう。
第7回	単元名	電気と磁気(1)
提出期限 9月15日	概要	電場と電位 ・電荷が相互に及ぼし合う力や電場(電界)の表し方について理解しよう。
第8回	単元名	電気と磁気(2)
提出期限 9月15日	概要	コンデンサー／電流 ・コンデンサーの放電などの実験を通して、充電と放電、電気容量、空気中に置かれた平行板コンデンサーなどの基本的な性質について理解する。また、コンデンサーの接続における合成容量や、電気容量と誘電体との関係について理解しよう。 ・電池の起電力と内部抵抗の測定や、ホイートストンブリッジによる抵抗値の測定などを通して、キルヒホッフの法則、抵抗率の温度変化、電球の電流特性などについて理解する。また、コンデンサーを含む電気回路や、半導体の特性について理解しよう。
第9回	単元名	電気と磁気(3)
提出期限 10月15日	概要	電流と磁場 ・観察、実験を通して、直線電流のまわり、円形電流の中心、ソレノイドの内部にできる磁場について理解しよう。
第10回	単元名	電気と磁気(4)
提出期限 10月15日	概要	電磁誘導と電磁波 ・コイルを貫く磁束が変化するとき及び導線が磁束を横切るときに生じる誘導起電力、自己誘導、相互誘導、渦電流、交流発電機の仕組みなどについて理解しよう。
第11回	単元名	原子(1)
提出期限 11月15日	概要	電子と光 ・電子の発見に関する歴史的な実験にも触れながら、真空放電などの実験を通して、電子の比電荷、電気素量について理解しよう。
第12回	単元名	原子(2)
提出期限 12月15日	概要	原子と原子核 ・ α 粒子の散乱実験などの科学史を通して、原子の構造について理解する。また、水素原子のスペクトルの観察などを通して、スペクトルの波長に規則性があることや、ボーアの原子モデルなどを学び、原子が出す光のスペクトルと電子のエネルギー準位の関係について理解しよう。

面接指導計画

<p>1. 単元名 【4月～8月実施】力学 【9月～10月実施】熱力学 【11月実施】波 【12月～3月実施】電磁気学 【オンライン授業実施】全範囲 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標 関心・意欲・態度 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 思考・判断・表現 日常に存在する物理現象のなかに力学に関する問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。 観察・実験の技能</p>
--

日常生活や社会との関連を図りながら、力学について、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

知識・理解

日常生活や社会との関連を図りながら、力学について仕事と関連付けて基本的な概念や法則を理解している。

「化学基礎」 全学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	化学基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解させる。</p> <p>②原子の構造，電子配置と周期律の関係及び，化学結合のしくみについて理解させる。</p> <p>③化学反応の量的関係，酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連付けて考察させる。</p> <p>④上記の目標を達成するために探究活動を行い，学習内容を深めるとともに，化学的に探究する能力を高める。</p>
------	--

教科書	東京書籍 『改訂 新編化学基礎』(化基 314)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	物質の成分と構成元素
提出期限 6 月 15 日	概要	物質の成分/物質の構成元素/物質の三態 【物質の成分】赤ワインを蒸留してみよう/色素を分離しよう 【物質の構成元素】炎色反応を調べよう 【物質の三態】熱運動による拡散を観察しよう
第 2 回	単元名	原子の構造と元素の周期表
提出期限 7 月 15 日	概要	原子の構造/電子配置と周期表 【原子の構造】放射性同位体の利用について調べよう 【電子配置と周期表】アルカリ金属の性質を調べよう
第 3 回	単元名	化学結合
提出期限 8 月 15 日	概要	イオンとイオン結合/分子と共有結合/金属と金属結合/化学結合と物質の分類 【イオンとイオン結合】塩化ナトリウム水溶液の電気伝導性を調べよう 【分子と共有結合】極性のある物質と極性のない物質の性質を調べよう 【金属と金属結合】金属の性質を調べよう
第 4 回	単元名	物質の変化(1)
提出期限 10 月 15 日	概要	物質と化学反応式 ・原子量・分子量・式量 ・物質と溶液の濃度 ・化学反応式とその量的関係
第 5 回	単元名	物質の変化(2)
提出期限 11 月 15 日	概要	酸と塩基 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度と pH ・中和反応と塩 ・中和滴定
第 6 回	単元名	物質の変化(3)

提出期限 12月15日	概要	酸化還元反応 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用
----------------	----	--

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】化学とは何か 物質の成分と構成元素

【9月～10月実施】化学結合

【11月実施】物質と化学反応式

【12月～3月実施】酸と塩基

【オンライン授業実施】結合について 物質と化学反応式

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

・観察、実験などを行い、様々な事象を科学的に考察し表現したりなど、科学的に探究している。

【主体的に学習に取り組む態度】

・物質とその変化に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

「化学」 全学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	化学	単位	4 単位
----	----	----	----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	16 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	6.4 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	320 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①気体、液体、固体の性質を探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察する。</p> <p>②化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡を探究し、化学反応に関する概念や法則を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察する。</p> <p>③無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察する。</p> <p>④有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察する。</p> <p>⑤高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察する。</p> <p>⑥上記の目標を達成するために探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。</p>
------	---

教科書	東京書籍「改訂 新編化学」(化学 309)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間 12 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	物質の状態(1)
提出期限 6 月 15 日	概要	物質の状態/気体の性質 ・拡散と熱運動、物質の三態と状態変化、分子間力と三態、水の状態変化とエネルギー、融点と融解熱(凝固点と凝固熱)、沸点と蒸発熱、凝縮熱
第 2 回	単元名	物質の状態(2)
提出期限 6 月 15 日	概要	溶液の性質/化学結合と固体の構造 ・溶解と溶液・溶質・溶媒、イオン結晶・分子結晶の溶解と水和、水和イオン、物質の極性と溶解性 ・結晶と非晶質(アモルファス)、化学結合とイオン結晶・金属結晶・共有結合の結晶、結晶格子と単位格子
第 3 回	単元名	化学反応とエネルギー (1)
提出期限 7 月 15 日	概要	化学反応と熱・光 ・熱量、反応熱、発熱反応、吸熱反応 ・反応熱とヘスの法則(総熱量保存の法則)
第 4 回	単元名	化学反応とエネルギー (2)
提出期限 7 月 15 日	概要	電池と電気分解 ・金属のイオン化傾向と電池の正極・負極、起電力
第 5 回	単元名	化学反応の速さと平衡(1)
提出期限 8 月 15 日	概要	化学反応の速さ/化学平衡 ・速い反応と遅い反応とその例

		・化学平衡と平衡状態の意味
第6回	単元名	化学反応の速さと平衡(2)
提出期限 8月15日	概要	水溶液中の化学平衡 ・強電解質, 弱電改質, 電離度 α の定義, 弱酸の電離平衡と電離定数, 電離定数・弱酸の濃度と電離度 α の関係, 弱塩基の電離平衡と電離定数
第7回	単元名	無機物質(1)
提出期限 9月15日	概要	周期表と元素/非金属元素の単体と化合物 ・典型元素と遷移元素, 陽性元素と陰性元素, 金属元素と非金属元素 ・水素の単体の性質, 水上置換, 水素化合物
第8回	単元名	無機物質(2)
提出期限 9月15日	概要	典型金属元素/遷移元素/無機物質と人間生活 ・リチウム, ナトリウム, カリウム, ルビジウム, セシウムの性質 ・遷移元素の特徴 (密度が大きく融点が高い・複数の酸化数をとる・有色のイオン・触媒作用・錯イオン形成) ・金属の特性, 鉄, アルミニウム, 銅, 金, 白金, チタン, タングステン (高速度鋼), めっき (電気・化学・溶融)
第9回	単元名	有機化合物(1)
提出期限 10月15日	概要	有機化合物の特徴と構造/炭化水素 ・有機化合物と無機化合物, 価標 (単結合・二重結合・三重結合) と飽和結合・不飽和結合 ・一般式; C_nH_{2n+2} , 同族体, アルカンの構造と構造異性体の命名, アルキル基, アルカンの反応 (燃焼・置換反応)
第10回	単元名	有機化合物(2)
提出期限 10月15日	概要	アルコールと関連化合物 ・価数 (OH の個数) による分類, 第一級・第二級・第三級アルコールによる分類
第11回	単元名	有機化合物(3)
提出期限 11月15日	概要	芳香化合物/有機化合物と人間生活 ・ベンゼン環と芳香族化合物 ・芳香族炭化水素 (ベンゼン・トルエン・キシレン・ナフタレン), オルト・メタ・パラ異性体 ・染料と顔料, 天然染料 (植物染料・動物染料) と合成染料 (アゾ染料), サルファ剤, 抗生物質 (ペニシリン), アスピリン
第12回	単元名	高分子化合物
提出期限 12月15日	概要	天然高分子化合物/合成高分子化合物/高分子化合物と人間生活 ・有機高分子化合物と無機高分子化合物, 天然高分子化合物と合成高分子化合物, 単量体と重合体, 重合と重合度, 平均分子量 ・合成繊維, プラスチック, 合成ゴム, 機能性高分子化合物 ・高吸水性高分子, 生分解性高分子, 導電性高分子, 感光性高分子

面接指導計画

<p>1. 単元名 【4月～8月実施】物質の状態・化学反応とエネルギー 【9月～10月実施】化学反応の速さと平衡 【11月実施】無機物質 【12月～3月実施】有機化合物 【オンライン授業実施】高分子化合物 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標 【知識・理解】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的に探究するために必要な観察・実験などに関する知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 グループワークや実験、練習問題に取り組む中で自身の考えを整理でき、言葉で説明することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 ・教員の話在意欲的に聞き、しっかりと前を向いている。 化学の基本的な概念や法則について理解を自ら深めようとしている。</p>

授業内で扱った単元について、積極的に練習問題に取り組んでいる。

【観察・実験の技能】

学んだ内容を観察・実験を通して物質の性質を結びつけながら理解しようとする。

「生物基礎」 2 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	生物基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。</p> <p>②遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。</p> <p>③観察、実験を通して生物や生命現象に対する畏敬の念を育む。</p> <p>④多様性と共通性という 2 つの視点から、生物や生命現象を探究する方法や姿勢を身につける。</p>
------	--

教科書	東京書籍「改訂 新編生物基礎」(生基 3 1 2)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	生物の特徴
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>生物の多様性と共通性/生命活動とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生物種が見られるのは、さまざまな生育環境に適応した結果であることを理解する。 ・すべての生物には、共通した特徴が見られることから、共通の祖先から生じた結果であるということを理解する。 ・いろいろな姿形の細胞で生物の体は構成されているが、その基本的な構造は共通していることを理解する。 ・原核細胞と真核細胞、動物細胞と植物細胞それぞれの特徴を理解する。 ・顕微鏡の使い方とプレパラートの作成法の確認、またスケッチのしかたやマイクロメーターの使い方についての技能を習得する。 ・いろいろな細胞を観察することで、生物の体の基本単位は細胞であること、また、その基本的な構造を理解する。 ・物質の分解や合成には必ずエネルギーの出入りが伴うことを理解する。 ・生命活動に必要なエネルギーは ATP に含まれる化学エネルギーが利用されることを理解する。 ・代謝には必ず酵素という触媒が関与していることを理解する。 ・酵素の主成分はタンパク質であるため、基質特異性や最適温度、最適 pH といった性質が生じることを理解する。 ・光合成は、光エネルギーを有機物に含まれる化学エネルギーに変換する過程であることを理解する。 ・光合成では、まず光エネルギーを生命活動に利用できる ATP の化学エネルギーに変換することから始まることを知る。 ・呼吸は、有機物に含まれる化学エネルギーを ATP に含まれる化学エネルギーに変換する過程であることを理解する。 ・呼吸では、有機物に含まれる化学エネルギーを段階的に取り出すことで、効率よく ATP の化学エネルギーに変換していることを知る。 ・光合成の生成物について具体的な方法で確認する。 ・結果のまとめ方、考察の仕方など、レポートの書き方を学ぶ。 ・ミトコンドリアと葉緑体は、他の原核細胞と共生したことで獲得した細胞小器官であり、これによって光合成や呼吸といった効率の良い代謝のしくみを獲得したことを理解する。 ・葉緑体とミトコンドリアの観察を通じて、仮説の立て方・検証のための観察実験の計画、結果のまとめ方、考察の書き方などを習得する。

第2回	単元名	遺伝子とのはたらき
提出期限 7月15日	概要	<p>生物と遺伝子／遺伝情報の分配／遺伝情報とタンパク質の合成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の特徴や性質は遺伝情報によって決まることを理解する。 ・メンデルの研究から DNA の構造面・機能面の解明までの遺伝研究の科学史に触れ、興味関心を高める。 ・身のまわりの材料を用いて DNA を抽出することで、どんな生物も DNA を持つことを理解する。 ・DNA はヌクレオチドが数珠状につながった高分子であることを理解する。 ・DNA は二重らせん構造をとっており、お互いの塩基間に相補性がある意義を理解する。 ・DNA の塩基配列が遺伝情報を担っていることを理解する。 ・染色体は DNA が凝縮したものであることを理解する。 ・ゲノムとは生物が生命活動を営むために必要なすべての遺伝情報であることを理解する。 ・DNA を取り扱う技術の応用にあたっての注意点を考えさせ、倫理観を育む。 ・染色体の挙動に着目して、体細胞分裂の過程を理解し、その際、遺伝情報が均等に分配されることを理解する。 ・プレパラートの作成法、特に固定、解離、染色の方法を習得する。 ・顕微鏡観察像から、体細胞分裂の過程を判断できるようになる。 ・細胞周期の過程を理解するとともに、S 期における DNA の複製は相補性を利用して正確に行われていることを理解する。 ・生命活動を営むには生物ごとに固有のタンパク質が必須であり、DNA の遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。 ・DNA の塩基配列と相補的な配列の RNA が合成されることが転写であることを理解する。 ・RNA の塩基配列をタンパク質のアミノ酸配列に変換する過程が翻訳であることを理解する。 ・すべての体細胞は同じゲノムを持っているが、細胞ごとに異なる遺伝子が発現することで細胞の分化が生じることを理解する。
第3回	単元名	生物の体内環境の維持 (1)
提出期限 8月15日	概要	<p>体内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体内環境を一定に保とうとする恒常性というしくみがあることを理解する。 ・体液と細胞との間で物質がやり取りされることで、体内環境が一定に保たれていることを理解する。 ・心臓を中心とした循環系が細胞に必要な成分を供給していることを学ぶ。 ・ヘモグロビンの酸素解離曲線を用いて、赤血球が酸素を運ぶしくみを考える。 ・血液凝固と線溶のしくみにより、体液の循環が滞りなく行われていることを理解する。 ・両生類の血液を観察し、赤血球がヒトのものとは異なる点を確認する。 ・肝臓や腎臓のつくりやはたらきを学び、体液の量や成分を一定に保つことで体内環境を維持していることを理解する。 ・腎臓における尿の生成と老廃物の濃縮について、血しょうや尿中の質量パーセント濃度から濃縮率を求める方法を学ぶ。
第4回	単元名	生物の体内環境の維持 (2)
提出期限 10月15日	概要	<p>体内環境を保つしくみ／体内環境を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自律神経系による調節 ・ホルモンによる調節 ・血糖値の調節 ・免疫のシステム ・免疫とヒト
第5回	単元名	生物の多様性と生態系(1)
提出期限 11月15日	概要	<p>植生の多様性／気候とバイオーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系における植物の役割 ・植生と遷移 ・地球上の植生分布 ・さまざまなバイオーム
第6回	単元名	生物の多様性と生態系(2)
提出期限 12月15日	概要	<p>生態系とその保全／用語を整理しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーと物質の循環 ・生態系のバランスと保全 ・用語を整理しよう

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】生物の多様性、酵素の働き

【9月～10月実施】DNA の構造

【11月実施】体内環境の維持

【12月～3月実施】免疫とヒト

【オンライン授業実施】植生、生態系

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

生物学で頻出の単語や、生物の分類、体内で起こす現象について理解するとともに、人に対して説明をすることができる。また、実験を正確に行い、迅速に実施する能力を持っている。

【思考・判断・表現】

人間にとって身近に関わる様々な現象について、生物学的な観点から説明することができる。また、答えのない問いについて自ら考察し、意見をまとめ他者に発表することができる。

【関心・意欲・態度】

身近な現象について、なぜそのような現象が起こるのかなどを自ら積極的に調べ、まとめることができる。授業外でも生物について意欲的に学習しようとしている。

【知識・理解】

生物基礎の学習で習う基本的な単語、法則などを理解している。

「生物」 全学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	生物	単位	4 単位
----	----	----	----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	16 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	6.4 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	320 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。</p> <p>②生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。</p> <p>③観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。</p> <p>④命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「スタンダード生物」(生物 307)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間 12 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	生命現象と物質(1)
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>生体物質と細胞/生命現象を支えるタンパク質</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞は、どのような成分によって構成されているのだろうか。細胞の構造とはたらきについて学習しよう。 タンパク質は、生体内においてどのようなはたらきをしているのだろうか。生命現象を支えるタンパク質の構造やはたらきについて学習しよう。
第 2 回	単元名	生命現象と物質(2)
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>代謝とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物の体内では、エネルギーの出入りを伴うさまざまな代謝が行われている。呼吸や光合成を中心に、代謝反応の流れやしきみについて学習しよう。
第 3 回	単元名	遺伝子のはたらき(1)
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>DNA の構造と複製/遺伝情報の発現</p> <ul style="list-style-type: none"> DNA の複製はどのように行われているのだろうか。DNA の構造や方向性、複製のしきみについて学習しよう。 タンパク質の合成は、どのようなしきみで行われているのだろうか。また、遺伝情報が変化することはあるのだろうか。遺伝情報の流れと遺伝情報の変化について学習しよう。
第 4 回	単元名	遺伝子のはたらき(2)
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>遺伝子の発現調節/バイオテクノロジー</p> <ul style="list-style-type: none"> 転写の開始はどのようなしきみで調節されているのだろうか。また、分化した細胞が特有のタンパク質をもつのはなぜだろうか。遺伝子発現のしきみと細胞分化について学習しよう。 バイオテクノロジーとは、どのような技術だろうか。また、バイオテクノロジーは、私たちのくらしとどのようなかわりがあるのだろうか。バイオテクノロジーの技術と課題について学習しよう。
第 5 回	単元名	生殖と発生(1)
提出期限 8 月 15 日	概要	多様な個体が生じる有性生殖/動物の発生

		<ul style="list-style-type: none"> ・有性生殖では多様な個体が生じるのはなぜだろうか。細胞分裂，染色体，遺伝子などのさまざまな視点から学習しよう。 ・生物が1個の細胞である受精卵から成体になる過程を発生という。動物の発生はどのように始まり，どのように進行するか学習しよう。
第6回	単元名	生殖と発生(2)
提出期限 8月15日	概要	<p>動物の発生のしくみ／植物の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の発生の過程ではどのようなしくみははたしているのだろうか。両生類や昆虫類の発生のしくみについて学習しよう。 ・動物の発生のしくみと比較しながら，被子植物の生殖と発生・分化について，その特徴やしくみを学習しよう。
第7回	単元名	生物の環境応答(1)
提出期限 9月15日	概要	<p>動物の刺激の受容と反応／動物の行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物は，光や音などの刺激を手がかりにして，獲物や外敵の存在などの情報を得ている。情報を処理して正確ですばい反応を引き起こすしくみについて学習しよう。 ・行動とは，生物を含む環境に対して，生物が反応したりはたらきかけたりする活動である。動物の行動が起こるしくみについて学習しよう。
第8回	単元名	生物の環境応答(2)
提出期限 9月15日	概要	<p>植物の環境応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動能力をもたない植物は，周囲の環境の変化に応じた発生や成長などの調節がみられる。植物の一生をたどりながら，植物の環境応答とそのしくみについて学習しよう。
第9回	単元名	生態と環境(1)
提出期限 10月15日	概要	<p>生物の多様性と生態学／個体群と生物群集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態学とは，どのような学問だろうか。生態学によってどのようなことが明らかになるかについて学習しよう。 ・自然界の生物は，同じ種や異なる種とどのような関係をもっているのだろうか。多くの種がどのように共存しているかについて学習しよう。
第10回	単元名	生態と環境(2)
提出期限 10月15日	概要	<p>生態系の物質生産とエネルギーの流れ／生態系と生物多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系のなかでの有機物の生産やエネルギーの流れに対して，生物がどのようにかかわっているかについて学習しよう。 ・生物多様性とは何だろうか。生態系のなかでの人間（ヒト）とほかの生物とのかかわりについて学習しよう。
第11回	単元名	生物の進化と系統(1)
提出期限 11月15日	概要	<p>生命の起源と生物の変遷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在，地球上でみられる多種多様な生物は，どのようにして地球上に誕生し，現在までどのような変遷をたどってきたかについて学習しよう。
第12回	単元名	生物の進化と系統(2)
提出期限 12月15日	概要	<p>進化のしくみ／生物の系統</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進化とは，一般に，生物の形質が世代を経るにつれて変化していくことである。進化はどのようなしくみで起こるかについて学習しよう。 ・生物が進化してきた道筋を系統という。さまざまな生物にはどのような系統関係があるのかについて学習しよう。

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】生命現象と物質 【9月～10月実施】遺伝子の働き 【11月実施】生殖と発生 【12月～3月実施】生物の環境応答 【オンライン授業実施】生態と環境 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験，調査等に関する基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
--

生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，自然の事物・現象を，質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え，比較したり，関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を習得している。

【主体的に学習に取り組む態度】

生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度や，自然の事物・現象を総合的に考察しようとしている。

「地学基礎」 3 学年 年間学習指導計画

教科	理科	科目	地学基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。</p> <p>②地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力と態度を育てる。</p> <p>③地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地学的な見方や考え方を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「改訂 地学基礎」(地基 3 0 6)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	私たちの宇宙の進化
提出期限 6 月 15 日	概要	宇宙の構造と進化/太陽と惑星 ビッグバンと宇宙の誕生/宇宙原理と宇宙の膨張/天体の誕生/銀河と天の川銀河/銀河の集団と大規模構造/太陽系の誕生と進化/惑星・小惑星・彗星の起源/太陽の進化とその最後/太陽の特徴/太陽の活動と地球への影響/地球型惑星と木星型惑星/太陽系の広がり地球
第 2 回	単元名	私たちの地球の変遷と生物の進化
提出期限 7 月 15 日	概要	地層や岩石の観察/生命の変遷 地層の形成/地層と古環境/地質構造/原始地球の誕生/先カンブリア時代/古生代/中生代/新生代
第 3 回	単元名	私たちの大地(1)
提出期限 8 月 15 日	概要	大地とその動き/地震 地球の形と大きさ/地球の構造/地球内部の動き/プレートの境界/地球内部を伝わる地震波/地震のメカニズム/海溝の地震/活断層の地震/地震による災害と防災/沈み込み境界の地震
第 4 回	単元名	私たちの大地(2)
提出期限 10 月 15 日	概要	火山 火山ができる場所/火山活動の多様性/火成岩の観察
第 5 回	単元名	私たちの空と海・地球のこれから(1)
提出期限 11 月 15 日	概要	大気と海洋 地球の大気/地球の熱収支/大気の大循環/雨や雪が降るしくみ/海水とその運動/日本の海の恵みと災害
第 6 回	単元名	私たちの空と海・地球のこれから(2)

提出期限 12月15日	概要	地球環境の考え方／自然環境の変動／日本の自然環境／これからの地球環境 私たちの地球のこれから／地球システム／時間・空間スケール／フィードバックのしくみ／自然環境の変化／人間活動がもたらす自然環境の変化／日本の自然がもたらす恩恵／日本における自然災害／災害と人間／世界の取り組み／代替エネルギー／持続可能な発展へ
----------------	----	--

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】私たちの宇宙の進化 【9月～10月実施】私たちの地球の変遷と生物の進化 【11月実施】私たちの大地 【12月～3月実施】私たちの空と海・地球のこれから 【オンライン授業実施】私たちの宇宙の進化/私たちの地球の変遷と生物の進化 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 地球や地球を取り巻く環境に関する観察・実験などを行い、それらの過程や記録を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p> <p>【観察・実験の技能】 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【知識・理解】 地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p>

「体育 I」 1 学年 年間学習指導計画

教科	保健体育	科目	体育 I	単位	2 単位
----	------	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	10 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	240 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	---------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>(1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
------	---

教科書	大修館「保体 304 現代高等保健体育」
副教材	大修館 「アクティブスポーツ 2021」

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 2 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回 提出期限 8 月 15 日	単元名	人間にとって「動く」とは何か/スポーツの始まりと変遷/文化としてのスポーツ人間にとっての運動の意味/動きの工夫と文化/スポーツの始まりと発展/近代スポーツから国際スポーツへ/スポーツを文化としてとらえること/スポーツ文化の変容とメディア
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 人間にとっての運動の意味について理解し、動きの工夫が人間の文化をつくり出したことについて、基礎的な事項を理解しよう。 スポーツの始まりと変遷、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて、基礎的な事項を理解しよう。 スポーツの文化的内容について理解し、メディアの影響によるスポーツ文化の変容について、基礎的な事項を理解しよう。
第 2 回 提出期限 12 月 15 日	単元名	オリンピックと国際理解/スポーツと経済/ドーピングとスポーツ/ストレッチ/オリンピズムとオリンピックムーブメント/変貌するオリンピック/武道/世界の民族スポーツ/ボッチャ/スポーツの経済波及効果/拡大するスポーツ産業/ドーピングとスポーツ/求められるスポーツ倫理/ドーピングの始まりと歴史/ドーピング/オリンピック/バスケットボール
	概要	<p>ストレッチ/オリンピズムとオリンピックムーブメント/変貌するオリンピック/武道/世界の民族スポーツ/ボッチャ/スポーツの経済波及効果/拡大するスポーツ産業/ドーピングとスポーツ/求められるスポーツ倫理/ドーピングの始まりと歴史/ドーピング/オリンピック/バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピズムとオリンピックムーブメントについて理解し、オリンピックがどのように変貌してきたかについて理解しよう。 スポーツによる経済波及効果について理解し、スポーツ産業の発達がおよぼす経済活動への影響について理解しよう。 ドーピングが及ぼす社会全体への悪影響、スポーツ倫理が求められる理由について理解しよう。

面接指導計画

<p>1. 単元名 【4 月～8 月実施】 体づくり運動 モルック 球技 フットゴルフ</p>

【9月～10月実施】

球技 サッカー

体づくり運動 ストレッチポール

【11月実施】

球技 バレーボール

球技 卓球

【12月～3月実施】

球技 バドミントン

2. 単元目標

【関心・意欲・態度】

【体づくり運動】

一人ひとりの違いに応じた動きを理解し、技能の習得に取り組み、互いに助け合い高めることができる。

【球技】

ゲームのルールなどの基礎知識を知るとともに、段階的に練習に取り組み個人技能や集団技能を高めることができる。

【ダンス】

ダンスの名称、用語、文化的背景、と表現の仕方や交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解し、互いに共感し高め合いながら、技能の習得に取り組むことができる。

【体育理論】

スポーツの文化的内容、メディアの影響によるスポーツ文化の変容について、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。

【思考・判断・表現】

【体づくり運動】

生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに事故や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

【球技】

自己やチームの能力に応じて課題を考え、課題解決のための工夫をして練習やゲームに取り組んでいる。

【ダンス】

生涯にわたって運動を積タカに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

【体育理論】

スポーツの文化的特性やメディアの影響によるスポーツ文化の変容について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に説明することができる。

【知識・理解】

【体づくり運動】

一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切に、合意形成に貢献しようとしている。

【球技】

ゲームのルールなどの基礎知識を知るとともに、運動上達の仕組みやトレーニング効果について理解する。

【ダンス】

ダンスの名称、用語、文化的背景、と表現の仕方や交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解する。

【体育理論】

スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展、メディアの影響によるスポーツ文化の変容について、基礎的な事項を理解する。

【技能】

【体づくり運動】

体づくり運動に主体的に取り組み、互いに助け合い高めることができる。

【球技】

自己の能力に応じて段階的に練習に取り組み個人技能や集団技能を高めることができる。

【ダンス】

ダンスに主体的に取り組み、互いに共感し高め合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を大切にする。

【体育理論】

スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展、メディアの影響によるスポーツ文化の変容について、グラフや表などを用いて説明することができる。

「体育Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

教科	保健体育	科目	体育Ⅱ	単位	3 単位
----	------	----	-----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	15 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	320 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	---------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>(1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
------	---

教科書	大修館「保体 304 現代高等保健体育」
副教材	大修館 「アクティブスポーツ 2021」

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 3 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	スポーツの技術と戦術/技能の上達過程と練習/効果的な動きのメカニズム
提出期限 8 月 15 日	概要	<p>技術と技能/技術の型に応じた練習/戦術・作戦・戦略/技能の上達過程/効果的な練習法/スポーツ心理学/運動生理学/動きの開始と持続/動きのコントロール/バレーボール/バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにおける技術と技能の違い、クローズドスキルとオープンスキルの違い、戦術・作戦・戦略の違いについて理解しよう。 ・スポーツにおける技能の上達過程とそれらをふまえた効果的な練習法について、基礎的な事項を理解しよう。 ・動きの開始と持続についてのメカニズム、筋活動のコントロールと状況判断について、基礎的な事項を理解しよう。
第 2 回	単元名	技能と体力/体力トレーニング/運動やスポーツでの安全の確保バレー①/バレー②/バスケットボール/運動・スポーツにおける技能と体力の関係/練習とトレーニングの原理と原則/体力トレーニングを支える基礎理論/体力トレーニングの進め方/筋力トレーニング/持久力トレーニング/調整力・柔軟性のトレーニング/コーディネーショントレーニング/運動やスポーツによるけがの実態/運動やスポーツをおこなうときに注意すること/陸上競技
提出期限 10 月 15 日	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツにおける技能と体力の関係、練習とトレーニングの基本原則、練習とトレーニング効果をあげるための 5 原則について、基礎的な事項を理解しよう。 ・体力トレーニングを支える基礎理論、体力トレーニングの進め方を理解し、目的に応じたさまざまなトレーニングの方法について、基礎的な事項を理解しよう。 ・運動やスポーツによるけがの実態や気象条件・自然環境の変化にともなう危険性を理解し、障害防止の観点から運動やスポーツをおこなう際の注意事項について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しよう。
第 3 回	単元名	体育実技水泳/サッカー
提出期限 12 月 15 日	概要	<p>水泳/サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習水泳/問題演習サッカー

面接指導計画

1. 単元名

【球技】

キックベース

卓球

【球技】

キンボール

バスケットボール

【球技】

サッカー

バドミントン

【球技】

バレーボール

サッカーボウリング

※上記から2通りを学習する。

3. 単元目標

【関心・意欲・態度】

【球技】

ゲームのルールなどの基礎知識を知るとともに、段階的に練習に取り組み個人技能や互いにコミュニケーションを積極的に取りながら集団技能を高めることができる。

【思考・判断・表現】

【球技】

自己やチームの能力に応じて課題を考え、課題解決のための工夫をして練習やゲームに取り組むことができる。

【知識・理解】

【球技】

ゲームのルールなどの基礎知識を知るとともに、運動上達の仕組みやトレーニング効果について互いにコミュニケーションを積極的に取りながら理解することができる。

【技能】

【球技】

自己の能力に応じて段階的に練習に取り組み個人技能や互いにコミュニケーションを積極的に取りながら集団技能を高めることができる。

「体育Ⅲ」 3 学年 年間学習指導計画

教科	保健体育	科目	体育Ⅲ	単位	2 単位
----	------	----	-----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	10 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	240 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	---------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>(1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
------	---

教科書	大修館「保体 304 現代高等保健体育」
副教材	大修館 「アクティブスポーツ 2021」

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 2 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要				
第 1 回 提出期限 8 月 15 日	<table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>生涯スポーツの見方・考え方／ライフスタイルに応じたスポーツ社会の変化とスポーツの役割／スポーツ関連職紹介／生涯スポーツ／ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方／いろいろなスポーツライフスタイル／豊かなスポーツライフの設計／器械運動 1</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について、基礎的な事項を理解しよう。 ・ライフスタイルとスポーツのかかわり、自分に合ったスポーツライフの設計のしかたについて、基礎的な事項を理解しよう。 </td> </tr> </table>	単元名	生涯スポーツの見方・考え方／ライフスタイルに応じたスポーツ社会の変化とスポーツの役割／スポーツ関連職紹介／生涯スポーツ／ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方／いろいろなスポーツライフスタイル／豊かなスポーツライフの設計／器械運動 1	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について、基礎的な事項を理解しよう。 ・ライフスタイルとスポーツのかかわり、自分に合ったスポーツライフの設計のしかたについて、基礎的な事項を理解しよう。
単元名	生涯スポーツの見方・考え方／ライフスタイルに応じたスポーツ社会の変化とスポーツの役割／スポーツ関連職紹介／生涯スポーツ／ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方／いろいろなスポーツライフスタイル／豊かなスポーツライフの設計／器械運動 1				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について、基礎的な事項を理解しよう。 ・ライフスタイルとスポーツのかかわり、自分に合ったスポーツライフの設計のしかたについて、基礎的な事項を理解しよう。 				
第 2 回 提出期限 12 月 15 日	<table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>日本のスポーツ振興/スポーツと環境/体育実技バスケ/日本のスポーツ振興の歩み/地域とスポーツクラブ/世界のスポーツ振興/ニュースポーツ/スポーツと環境問題/これからのスポーツと環境保護/柔道/テーピング</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・現在にいたるまでの日本のスポーツ振興の流れや、地球におけるスポーツクラブの状況について理解しよう。 ・スポーツと環境問題について考え、スポーツ場面で環境を保護するために私たちができることについて理解しよう。 </td> </tr> </table>	単元名	日本のスポーツ振興/スポーツと環境/体育実技バスケ/日本のスポーツ振興の歩み/地域とスポーツクラブ/世界のスポーツ振興/ニュースポーツ/スポーツと環境問題/これからのスポーツと環境保護/柔道/テーピング	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在にいたるまでの日本のスポーツ振興の流れや、地球におけるスポーツクラブの状況について理解しよう。 ・スポーツと環境問題について考え、スポーツ場面で環境を保護するために私たちができることについて理解しよう。
単元名	日本のスポーツ振興/スポーツと環境/体育実技バスケ/日本のスポーツ振興の歩み/地域とスポーツクラブ/世界のスポーツ振興/ニュースポーツ/スポーツと環境問題/これからのスポーツと環境保護/柔道/テーピング				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在にいたるまでの日本のスポーツ振興の流れや、地球におけるスポーツクラブの状況について理解しよう。 ・スポーツと環境問題について考え、スポーツ場面で環境を保護するために私たちができることについて理解しよう。 				

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4～8 月実施】</p> <p>【ダンス】スタッキング</p> <p>【球技】バドミントン</p> <p>【9～10 月実施】</p> <p>【体づくり運動】筋力トレーニング</p> <p>【球技】バレーボール</p> <p>【11 月実施】</p> <p>【球技】モルック キンボール</p> <p>【12～3 月実施】</p>

【体づくり運動】

【球技】 サッカー

※上記から2通りを学習する。

3. 単元目標

【関心・意欲・態度】

【球技】

ゲームのルールなどの基礎知識を知るとともに、個人技能や集団技能を高めつつ、今後運動をすることための工夫も考えることができる。

【ダンス】

ダンスの名称、用語、文化的背景、と表現の仕方や交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解し、互いに共感し高め合いながら、発展的な技能の習得に取り組むことができる。

【思考・判断・表現】

【球技】

自己やチームの能力に応じて課題を考え、課題解決のための工夫をして練習やゲームに取り組んでいる。

【ダンス】

生涯にわたって運動を積タカに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

【知識・理解】

【球技】

ゲームのルールなどの基礎知識を知るとともに、運動上達の仕組みやトレーニング効果について理解する。

【ダンス】

ダンスの名称、用語、文化的背景、と表現の仕方や交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解する。

【技能】

【球技】

自己の能力に応じて段階的に練習に取り組む個人技能や集団技能を高めることができる。

【ダンス】

ダンスに主体的に取り組む、互いに共感し高め合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を大切にすること。

「保健」 2 学年 年間学習指導計画

教科	保健体育	科目	保健	単位	2 単位
----	------	----	----	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	2 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
------	---

教科書	大修館「保体 304 現代高等保健体育」
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 2 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	現代社会と健康(1)
提出期限 6 月 15 日	概要	<p>私たちの健康のすがた／健康のとらえ方／健康と意志決定・行動選択／健康に関する環境づくり／生活習慣病とその予防／食事と健康／運動と健康／休養・睡眠と健康／喫煙と健康／飲酒と健康／薬物乱用と健康／現代の感染症／感染症の予防／性感染症・エイズとその予防／欲求と適応機制／心身の相関とストレス／ストレスへの対処</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命の伸びと死亡率の低下，健康水準向上の背景，生活習慣病の増加，わが国の新たな健康問題について，基礎的な事項を理解しよう。 ・成人病，生活習慣病の呼称の由来や病例，生活習慣病の予防対策について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しよう。 ・喫煙と生活習慣病とのかかわり，受動喫煙による健康影響，喫煙の開始要因，ニコチンによる依存性，たばこ対策としての健康増進法や未成年者喫煙禁止法，たばこ規制枠組条約などについて理解しよう。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響，飲酒の開始要因と社会問題，飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しよう。 ・薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響，薬物乱用の開始要因と社会問題，薬物乱用による健康被害を防ぐためのさまざまな対策について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しよう。 ・性感染症・エイズについて理解するとともに，その予防のために必要な個人的な対策と社会の取り組みについて理解しよう。 ・ストレスにはさまざまな対処方法があり，それらの中から自分なりの対処方法を身につけることが心の健康のために重要であることを理解しよう。
第 2 回	単元名	現代社会と健康(2)
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>心の健康と自己実現／交通事故の現状と要因／交通社会における運転者の資質と責任／安全な交通社会づくり／応急手当の意義とその基本／心肺蘇生法／日常的な応急手当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の健康を保持増進していくためには，自己実現を図るよう努力することが重要だと理解しよう。 ・安全な運転のために必要とされる資質について理解するとともに，交通事故を起こした場合には責任や補償問題が生じることについて，理解しよう。 ・防災・防犯をめざした社会づくりのための法律や条例の整備，施設・設備の充実，情報の伝達・共有，組織的な活動の実施について，基礎的な事項を理解しよう。

		・適切な応急手当は病気やけがの悪化を防いだり、苦痛をやわらげたりできること、応急手当には適切な手順があることを理解しよう。
第3回	単元名	生涯を通じる健康(1)
提出期限 8月15日	概要	思春期と健康/性意識と性行動の選択/結婚生活と健康/妊娠・出産と健康/家族計画と人工妊娠中絶 ・性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解するとともに、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であることを理解しよう。 ・妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期における生活上の注意や周囲の支援、出産期に活用できる母子保健サービスについて理解しよう。 ・家族計画の意義、適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解しよう。
第4回	単元名	生涯を通じる健康(2)
提出期限 10月15日	概要	加齢と健康/高齢者のための社会的取り組み/保健制度とその活用/医療制度とその活用/医薬品と健康/さまざまな保健活動や対策 ・加齢にともなう心身の変化/中高年期を健やかに過ごすために/高齢者の健康課題とその支援/すべての人が健康で安全に暮らすための取り組み/生涯にわたる健康づくり/保健行政の役割と健康づくり/保健サービスの活用/医療制度と医療保険のしくみ/医療機関と医療サービスの活用/医師や医療機関について考えてみよう。
第5回	単元名	社会生活と健康(1)
提出期限 11月15日	概要	大気汚染と健康/水質汚濁・土壌汚染と健康/健康被害の防止と環境対策/環境衛生活動のしくみと働き ・大気汚染の原因と健康影響/大気にかかわる地球規模の問題/水質汚濁とその健康影響/土壌汚染とその健康影響/大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり/環境汚染の防止とその対策/産業廃棄物の処理と健康/過去の公害から学ぶ環境問題/ごみの処理/上下水道の整備とし尿の処理
第6回	単元名	社会生活と健康(2)
提出期限 12月15日	概要	食品衛生活動のしくみと働き/食品と環境の保健と私たち/働くことと健康/労働災害と健康/健康的な職業生活 ・食品の安全性/行政や製造・加工者による衛生管理/食品の安全と私たちの役割/環境の保健と私たちの役割/働くことと健康のかかわり/働き方と健康問題の変化/労働災害とその防止/安全管理と健康管理のしくみ/職場における取り組み/日常生活における取り組み

面接指導計画

<p>1. 単元名 体育理論 「生涯を通じる健康 思春期と健康」</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 授業を内容を自分に落とし込み、これまでの経験などを思い出しながら積極的に取り組んでいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 グラフや表などから自分の考えなどをまとめ、言葉や文章で表現することができる。</p> <p>【知識・理解】 過去に得た知識や新しく得た知識をもとに授業に内容を深く理解している。</p> <p>【技能】 授業で学んで知識をもとに健康的な生活をしていくためにどのような行動や対策をしていく必要があるか話したり、書いたりしている。</p>

「美術 I」 1 学年 年間学習指導計画

教科	芸術	科目	美術 I	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①表現の活動では、主題生成の能力、創造的に構想する能力、表現しながらさらに構想を確かめ練り直す能力、材料や用具の特性を生かし創意工夫して表す技能などを育成する。</p> <p>②鑑賞の活動では、美術作品や文化財等に映し出された美や創造のすばらしさ、人々の生活や願いなどを感じ取るとともに、生活を心豊かにする美術の働きや美術文化を理解したりする能力などを育成する。</p>
------	--

教科書	日本文教出版 「高校生の美術 1」 (美 1 302)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間 6 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	絵画の鑑賞
提出期限 6 月 15 日	概要	道具をつくる／描かれた世界から／思考にかたちを与える／表現する手・表現する心 ・日本や西洋の絵画を鑑賞し、自分の感性に基づいて自由な表現をできるようになる。
第 2 回	単元名	デッサン
提出期限 7 月 15 日	概要	身体のかたち／絵の具を知ろう／身近なものを描く ・デザインの基礎知識を学ぼう。
第 3 回	単元名	ドローイング
提出期限 8 月 15 日	概要	風景画／空想画／人物画／想像画／色と線で見える造形／模倣と創造／大小の対象 ・ドローイングの知識を学ぼう。
第 4 回	単元名	絵画/版画/彫刻
提出期限 10 月 15 日	概要	絵画/鑑賞/浮世絵/彫刻 ・山口晃のこれまで、鑑賞の視点 ・山口晃の見る力 ・寝ころがって絵を描こう ・浮世絵の基礎知識、和紙、版、彫りの解説/摺りの解説、「婦女人相十品 ビードロ吹き」の制作 1 ・「婦女人相十品 ビードロ吹き」の制作 2 ・篠田守男の歴史 ・篠田守男の彫刻作品の構造 ・篠田守男の作品解説
第 5 回	単元名	色彩/レタリング
提出期限 11 月 15 日	概要	色彩/レタリング/フォント ・色彩の基礎知識、三原色の解説、加法混色の解説/減法混色、色相環の解説、様々な混色の解説 ・加法混色、課題 2 減法混色で色を作る ・レタリングの基礎知識、フォントの解説/自分の名字をレタリングしてみよう

第6回	単元名	アニメーション
提出期限 12月15日	概要	アニメーション/おどろき盤/フリップブック <ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションの基礎知識、おどろき盤の制作1 ・おどろき盤の制作2 ・デジタルカメラを活用したおどろき盤の制作 ・アニメーションの原理、発想法、構想 ・アニメーションができるまで/フリップブックを作ろう

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】 オリジナルピクトグラムをデザインしよう</p> <p>【9月～10月実施】 オリジナルロゴマークをデザインしよう</p> <p>【11月実施】 オリジナルマスクを作ろう</p> <p>【12月～3月実施】 ポテチのパッケージデザインをしよう</p> <p>【オンライン授業実施】 ボールペンアート</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 デザインや美術の様々な表現方法に関心をもって意欲的に表現活動と鑑賞活動に取り組み、表現がもたらす喜びを味わおうとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ねらいを理解し、目的を実現するために、感性や想像力を働かせて効果的な表現を工夫する。 作品の造形的な特徴や表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わう。</p> <p>【技能】 表現方法や技法を主体的に選択し、意図に応じた表現を工夫する。</p> <p>【知識・理解】 制作のために必要な知識を理解し、自身の表現に生かす。</p>
--

「コミュニケーション英語Ⅰ」 1学年 年間学習指導計画

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅰ	単位	3単位
----	-----	----	--------------	----	-----

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1単位時間 50分	12 単位 時間	面接指導時間数 (6割減免後) ※1単位時間 50分	4.8 単位 時間	面接指導実施 時間数 40分 1コマ換算	240分
-----------------------------------	----------------	----------------------------------	-----------------	----------------------------	------

学習目標	<p>①積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>②聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。</p> <p>③話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。</p> <p>④言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</p>
------	--

教科書	東京書籍「All Aboard! English Communication I」(コI328)
-----	--

副教材	
-----	--

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
------	---

評価方法	添削指導(年間9回)、試験(年間1回)、面接指導での評価
------	------------------------------

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	Warm-Up / 《Lesson 1》 This is my House
提出期限 6月15日	概要	<p>アルファベット / 教室で使う表現 / 辞書の使い方 / 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。 辞書を使って単語を調べてみる。 be動詞 / 一般動詞 / 自己紹介 / 主語+動詞, 主語+動詞+補語, 主語+動詞+目的語 身のまわりのことについて英語で紹介する。
第2回	単元名	《Lesson 2》 My Favorite Hero
提出期限 7月15日	概要	<p>人物の背景や魅力について学習する。 / 進行形: (be動詞+動詞の-ing形) / 自分の好きな人物について英語で紹介する。 / be動詞と一般動詞 / 否定文と疑問文 / 過去形 / 進行形</p> <ul style="list-style-type: none"> 事物の紹介という場面に適切な表現を理解しよう。 過去形についての基本的な知識を身につけよう。 be動詞と一般動詞 / 否定文と疑問文 / 過去形 / 進行形について理解しよう。
第3回	単元名	《Lesson 3》 Cool Culture from Japan
提出期限 7月15日	概要	<p>日本のマンガについての会話を通して日本のマンガや文化がどのように世界に広がっているかを学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外での日本文化のとらえられ方を理解しよう。 助動詞 (can, will) の表す話し手の心情や使われる場面を理解しよう。
第4回	単元名	《Lesson 4》 A Miracle Mirror
提出期限 8月15日	概要	<p>海外の観光地について書かれたメールを通してその魅力について学習する。 / to不定詞: (to+動詞の原形)</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語で書かれるメールの形式を理解しよう。 場所の紹介という場面に適切な表現を理解しよう。 to不定詞についての基本的な知識を身につけよう。
第5回	単元名	《Lesson 5》 Finding My Future / 文法のまとめ2
提出期限 9月15日	概要	<p>高校生の夢や目標について知り、自分の将来について考える。 / 動名詞: (動詞の-ing形) / 将来の夢について英語で述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標について関心を持ち、積極的に読んだり聞いたりしよう。 自分の将来の夢について積極的に表現しよう。 将来の夢や目標について正確に表現し、適切に説明できる。自分が楽しんだことについて正確に表現しよう。 将来の夢や目標について情報を理解し、要点を的確にとらえよう。 将来の夢の説明という場面に適切な表現を理解しよう。動名詞についての基本的な知識を身につけよう。

<p>第6回</p> <p>提出期限 10月15日</p>	<p>単元名</p>	<p>《Lesson 6》 A Funny Picture from the Edo Period</p> <p>概要</p> <p>江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。／受け身：(be 動詞＋過去分詞)／好きな絵画について英語で描写する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌川国芳について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしよう。間違うことを恐れずに好きな絵画について描写しよう。 ・絵画の描写に適切な表現を用いよう。絵画について自分の考えを述べたり書いたりしよう。 ・歌川国芳に関する紹介を読み、概要や要点をとらえよう。歌川国芳に関する事実と結衣の考えを区別して読もう。 ・歌川国芳の浮世絵と現代マンガの関連性を理解しよう。 ・絵画を描写する場面に適切な表現を理解しよう。受け身についての基本的な知識を身につけよう。
<p>第7回</p> <p>提出期限 11月15日</p>	<p>単元名</p>	<p>《Lesson 7》 Living on Ice／《Lesson 8》 Building Trust in Space</p> <p>概要</p> <p>絶滅の危機に直面しているコウテイペンギンについての説明文を読み、地球温暖化の影響について考える。／現在完了形：(have [has]＋過去分詞)／環境を守るためにできることについて英語で提案する。</p> <p>国際宇宙ステーションの船長となった若田光一さんについての情報を読み、船長の重要な職務に対する若田さんの考えを学ぶ。／it の用法／尊敬する人物について英語で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしよう。地球温暖化防止について積極的に提案しよう。 ・地球温暖化防止について自分の考えを適切に表現しよう。 ・現在完了形を使って、経験について正確に表現できるようになろう。 ・コウテイペンギンに関する説明を読み、概要や要点をとらえよう。 ・コウテイペンギンの現状と地球温暖化の影響について理解しよう。 ・現在完了形についての基本的な知識を身につけよう。 ・乗組員同士のコミュニケーションに対する若田さんの考えについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしよう。 ・尊敬する人物について、間違うことを恐れずに積極的に話したり書いたりしよう。 ・自分の尊敬する人物について理由をあげながら説明できるようになろう。 ・ある行動に対する意見や感想を的確に述べよう。 ・若田さんについて読み、概要や要点をとらえよう。 ・つながりを示す語句に注意しながら読もう。 ・船長の職務や乗組員同士のコミュニケーションに対する若田さんの考えを理解しよう。 ・it の用法についての基本的な知識を身につけよう。
<p>第8回</p> <p>提出期限 11月15日</p>	<p>単元名</p>	<p>《Lesson 9》 Pigs from across the Sea/《Lesson 10》 I Am Malala</p> <p>概要</p> <p>第二次世界大戦後の沖縄の惨状とそれを救おうとしたハワイの沖縄出身の日系アメリカ人について学ぶ。／関係代名詞：who, which／自分と世界の結びつきを深めるためにできることについて、英語で発表する。</p> <p>学校で教育を受ける権利を求めて立ち上がった少女マララさんと彼女の考えについて学ぶ。／比較表現：形容詞の原級・比較級・最上級／地域の問題点とその改善方法について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の沖縄の惨状とハワイの沖縄出身の日系アメリカ人による支援について関心を持ち、積極的に読んだり聞いたりすることができるようになる。 ・自分と世界の結びつきを深めるためにできることについて、間違うことを恐れずに発表することができるようになる。 ・自分と世界の結びつきを深める活動に対する自分の考えについて聞き手に正確に、かつ適切に伝えることができるようになる。人や物について説明し、聞き手に正確に伝えることができるようになる。 ・第二次世界大戦後の沖縄の惨状とハワイの沖縄出身の日系アメリカ人による支援について要点や概要を読み取ることができるようになる。 ・ハワイと沖縄のウチナーンチュ（沖縄出身者）の関係について理解することができるようになる。 ・関係代名詞についての基本的な知識を身につけることができるようになる。 ・マララさんと彼女の考えについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりすることができるようになる。地域の問題点とその改善方法について、間違うことを恐れずに発表することができるようになる。 ・地域の問題点とその改善方法に対する自分の考えについて聞き手に正確に、かつ適切に伝えることができるようになる。 ・比較表現を使って家族について正確に表現することができるようになる。 ・マララさんについて読み、概要や要点をとらえることができるようになる。 ・マララさんに関する情報や事実とマララさんの考えを区別して適切に読むことができるようになる。 ・教育を受ける権利に対するマララさんの信念について理解し、比較表現についての基本的な知識を身につけることができるようになる。
<p>第9回</p> <p>提出期限 12月15日</p>	<p>単元名</p>	<p>Reading 2</p> <p>概要</p> <p>仲良しのガマ君 (Toad) とカエル君 (Frog) の友情についての物語を読み、場面や心情を読み取る。／登場人物の気持ちを考えながら音読する。／願望を表す文 (仮定法過去)／自分以外の人[物]になっ たいこと、できることについて対話する。／関係詞／分詞構文／比較表現／仮定法過去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未知語や理解できないことがあっても、推測するなどして読み続けることができるようになる。 ・間違うことを恐れずに積極的に音読に取り組むことができるようになる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢を用いたり,適切に区切ったりして音読することができるようになる。 ・語と語の結び付きに気をつけて音読できるようになる。 ・物語の流れにおける大切な情報を適切に読み取ることができるようになる。 ・目的に応じた読み方ができるようになる。 ・場面や登場人物の心情によるリズムやイントネーションの違いを理解することができるようになる。
--	---

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：文の構造 ・2コマ目：過去形 ・3コマ目：助動詞 <p>【9月～10月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 to 不定詞 ・2コマ目 動名詞 ・3コマ目 受動態 <p>【11月記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：関係代名詞 81P ・2コマ目：比較表現①（原級） ・3コマ目：比較表現②（比較・最上級） <p>【12月～3月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 関係副詞 ・2コマ目 It の用法 ・3コマ目 接頭辞・接尾辞 <p>【オンライン授業実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：接続詞 ・2コマ目：仮定法 ・3コマ目：現在完了形 <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 間違ふことを恐れず,積極的に情報や考えなどについて意欲的に書こうとしている</p> <p>【思考・判断・表現】 英文を読んで,内容を正しく理解することができる</p> <p>【知識・理解】 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている</p>

「コミュニケーション英語Ⅱ」 全学年 年間学習指導計画

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位	4単位
----	-----	----	--------------	----	-----

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1単位時間 50分	16 単位 時間	面接指導時間数 (6割減免後) ※1単位時間 50分	6.4 単位 時間	面接指導実施 時間数 40分 1コマ換算	320分
-----------------------------------	----------------	----------------------------------	-----------------	----------------------------	------

学習目標	<p>①積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>②聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。</p> <p>③話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。</p> <p>④ 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</p>
------	---

教科書	東京書籍 「All Aboard! English CommunicationⅡ」 (Ⅱ 326)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	《Lesson 1》 Fantastic Festivals
提出期限 6月15日	概要	世界の祭り／比較級：more, the most ・イタリアとフィリピンの2つ祭りに関する発表について読み、その特徴や共通点を学ぶ。
第2回	単元名	《Lesson 2》 Dancing with Freedom
提出期限 6月15日	概要	自分を表現すること／関係代名詞：what ・ダンサーの菅原小春さんについて読み、世界で活躍するまでの道のりについて学ぶ。
第3回	単元名	《Lesson 3》 The Spirit of the Forest
提出期限 7月15日	概要	森の精霊—ヤマネ／間接疑問文 ・天然記念物で日本の固有種であるヤマネと、その生息環境について学ぶ。
第4回	単元名	《Lesson 4》 Living with Robots
提出期限 7月15日	概要	ロボットと築く未来／名詞を後ろから説明する分詞 ・科学技術発達の例としてロボットについて読み、未来の生活について考える。
第5回	単元名	《Lesson 5》 Special Makeup in Kabuki
提出期限 8月15日	概要	歌舞伎メイクの物語／to不定詞を含む表現 ・日本の伝統文化である歌舞伎を説明する英語音声ガイドを聞いて、歌舞伎とその独特の舞台化粧・隈取について学ぶ。
第6回	単元名	《Reading 1》 Mujina
提出期限 8月15日	概要	ムジナ ・江戸時代の怪談を読む。
第7回	単元名	《Lesson 6》 A Microcosm in the Sea
提出期限 9月15日	概要	世界遺産グレートバリアリーフ／動詞の目的語になるif節 ・世界遺産グレートバリアリーフについてのプレゼンテーションを通して、それが直面する問題について学ぶ。
第8回	単元名	《Lesson 7》 Happiness through Hula
提出期限 9月15日	概要	笑顔をつなぐ踊り／知覚動詞 ・高校生のフラダンスチームメンバーの経験を通して福島県いわき市とフラダンスの縁について学ぶ。

第9回	単元名	《Lesson 8》 The Magic of the Cotswolds
提出期限 10月15日	概要	魔法にかけられて／関係副詞：where, when ・「ハリー・ポッター」シリーズの舞台となったイギリスを訪れた結衣からのメールを読んで、イギリスの風景や文化について学ぶ。
第10回	単元名	《Lesson 9》 The Bitter Truth about chocolate
提出期限 10月15日	概要	甘いチョコレートの苦い現実／使役動詞 ・チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて学ぶ。
第11回	単元名	《Lesson 10》 Designing for Peace
提出期限 11月15日	概要	デザインで世界を変える／分詞構文 ・工業デザイナーのマスド・ハッサニさんと彼のデザインした地雷探査機マイン・カフォンについて学ぶ。
第12回	単元名	《Reading 2》 Olivia
提出期限 12月15日	概要	オリビア ・セラピー犬オリビアと少年ショーンとの友情についての随筆を読む。

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】

- ・1コマ目 アクティビティ①（他己紹介） pp.20~23
- ・2コマ目 《Lesson 2: Dancing with Freedom》 関係代名詞 pp.15~21,p.33
- ・3コマ目 《Lesson 5: Special Makeup in Kabuki》 to 不定詞 pp.45~51,p.60
- ・4コマ目 アクティビティ②（友人にお勧めの場所を紹介するメールを書こう） p.89 p.41

【9月～10月実施】

- ・1コマ目 《Lesson 7: Happiness through Hula》 知覚動詞 pp.73~79,p.90
- ・2コマ目 《Lesson 9: The Bitter Truth about Chocolate》 使役動詞 pp.93~101,p.112
- ・3コマ目 《Let's Listen》 リスニング活動 p.34,p.92
- ・4コマ目 《Getting the Necessary Information》 英文問題を解く pp.70~71

【11月実施】

- ・1コマ目 《Lesson3:The Sprit of the Forest》 間接疑問文 P,25~31
- ・2コマ目 《Lesson4: Living with Robots》 名詞を後ろから説明する分詞 P.35~41
- ・3コマ目 《Lesson5: Special Make up in kabuki》 歌舞伎座メイクの物語 p46~49
- ・4コマ目 《プレゼンテーションにチャレンジ》 p.72

【12月～3月実施】

- ・1コマ目 《Lesson6: A Microcosm in the Sea》 動詞の目的語になる if 節 P.63~69
- ・2コマ目 《Reading1: Mujina》 P.074~077
- ・3コマ目 《Extra Target2》 仮定法過去 P,102
- ・4コマ目 《Let's Listen》 リスニング活動 p.62,p.101.

【オンライン授業実施】

- 1コマ目：間接疑問文
 - 2コマ目：関係副詞 why, where, when
 - 3コマ目：比較級 as...as~, more than~, the most~
 - 4コマ目：名詞を後ろから説明する分詞 現在分詞・過去分詞
- ※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・理解】

言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる
聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる

【思考・判断・表現】

話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる

【関心・意欲・態度】

積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる

「英語表現 I」 3 学年 年間学習指導計画

教科	外国語	科目	英語表現 I	単位	2 単位
----	-----	----	--------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ②英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
------	--

教科書	東京書籍 「NEW FAVORITE English Expression I」
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 6 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	《Lesson 1》～《Lesson 4》
提出期限 6 月 15 日	概要	Hello, Japan! ○自己紹介 文構造 1 A Present for Sophie ○相談をする 文構造 2 What Did You Do? ○手紙 時制 1 Let's Go on a Trip ○予定を説明する 時制 2 ・自己紹介の基本である名前、年齢、学年、好きなことなどが表現できるようになる。 ・歓迎会における特有の言い回しなどが表現できるようになる。 ・手紙における特有の言い回しなどが表現できるようになる。 ・E メールにおける定型の言い回しを表現できるようになる。
第 2 回	単元名	《Lesson 5》～《Lesson 8》
提出期限 7 月 15 日	概要	Music Lovers ○予定説明好きなことを話す 完了形 1 What a Day! ○出来事を報告する 完了形 2 Different Schools, Different Rules ○規則を説明する 助動詞 1 Snail Mail ○今と昔を言い分ける 助動詞 2 ・趣味の紹介に特有のフレーズや言い回しを表現できるようになる。 ・メッセージアプリでの書き方や文章構成の工夫を表現できる。 ・規則を説明する際の表現方法や文章構成の工夫を表現できるようになる。 ・今と昔を比較して述べる場合に特有の言い回しを表現できるようになる。
第 3 回	単元名	《Lesson 9》～《Lesson 12》
提出期限 8 月 15 日	概要	Plastic Food Samples ○日本文化の紹介 受け身 What Is That Gesture? ○ジェスチャーを説明 to 不定詞 Laughter Brings Happiness ○決意を発表する 動名詞 A Movie Review ○映画を紹介する 分詞 1 ・日本の伝統文化や行事を紹介する際の固有の用語や用法を表現できるようになる。 ・to 不定詞を正確に使って文を作ることができるようになる。 ・ジェスチャーについてわかりやすく説明することができるようになる。 ・聞き手にわかりやすいように好きな 4 コマ漫画を紹介することができるようになる。 ・動名詞を使った慣用表現を使うことができるようになる。 ・現在分詞と過去分詞を使い分け、正しく名詞を修飾することができるようになる。
第 4 回	単元名	《Lesson 13》～《Lesson 15》
提出期限 10 月 15 日	概要	My Brother Eats ... Homework. ○学校新聞の記事を書く：分詞②、動詞の原形 The Future of Robots ○ロボットの説明：関係代名詞 Visit Kuala Lumpur! ○ガイド文を書く：関係副詞

		<ul style="list-style-type: none"> ・学校新聞の記事を工夫して作ることができるようになる。 ・分詞構文の文を正確に作ることができるようになる。 ・関係代名詞を使って正確に文を作ることができるようになる。 ・関係副詞を使って正確な文を作ることができるようになる。 ・学習したことをもとに自分でガイド文を書くことができるようになる。
第5回	単元名	《Lesson 16》～《Lesson 17》
提出期限 11月15日	概要	<p>Our School's Global Footprint ○環境配慮へのスピーチをする：関係代名詞・関係副詞</p> <p>Tokyo Skytree ○名所の比較：比較①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係詞 what, 関係代名詞・関係副詞の非制限用法, 前置詞+関係代名詞などを使って正確に文を作ることができるようになる。 ・比較表現を使って文を作ることができる。 ・各地の名所について他のものと比較しながら紹介する文を作ることができる。
第6回	単元名	《Lesson 18》～《Lesson 20》
提出期限 12月15日	概要	<p>New Zealand ○住んでいる場所の紹介：比較②</p> <p>If I Were Principal ... ○理想の学校についてのスピーチをする：仮定法①</p> <p>Thank You, Everyone! ○感謝を伝える:仮定法②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倍数表現を使って文を作ることができるようになる。 ・「最も～だ」と言うときの比較表現を使って文の言い換えをすることができるようになる。 ・仮定法の文を正確に作ることができるようになる。 ・「まるで～のように」, 「～ならいい[よかった]のに」と言うときの表現を正確に使うことができるようになる。

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 Lesson5,6 現在完了・過去完了(pp.27-34) ・2コマ目 Lesson17 比較 (pp.85-88) <p>【9月～10月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 Lesson14 関係代名詞(pp.69-71) ・2コマ目 Lesson19 仮定法 (pp.93-96) <p>【11月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 Lesson12 映画の紹介をしよう・分詞①(pp.59～62) ・2コマ目 Lesson18 自分の住んでいるところを紹介しよう・比較②(pp.89～92) <p>【12月～3月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 Lesson7 助動詞 ・2コマ目 Lesson11 動名詞 <p>【オンライン授業実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 Lesson13 知覚動詞(pp.64-65) ・2コマ目 Lesson15 関係副詞(pp.74-75) <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する</p> <p>【思考・判断・表現】「聞くこと」・「読むこと」を通して得た事実や意見を理解し、その内容を比較して共通点や相違点を整理したり、自分の知識や経験に基づいて分析や評価をしたり、既存の知識と統合しながら「話すこと」・「書くこと」ができる能力を養う</p> <p>【知識・理解】言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる</p>

「英語会話」 2 学年 年間学習指導計画

教科	外国語	科目	英語会話	単位	2 単位
----	-----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 ②英語を通じて、身近な話題について会話することができる。
------	---

教科書	東京書籍 「Hello there! English Conversation」 (英会 301)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導 (年間 6 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	《Unit1①》 Introductions
提出期限 6 月 15 日	概要	【Lesson 1 Nice to Meet You】 <表現>自分を紹介する・聞き返す・あいさつをする/意味を尋ねる・説明する/<文法>be 動詞と一般動詞/短縮形/助動詞 (shall) /文構造 ・初対面でのあいさつができるようになる。 ・自己紹介の流れを理解する。 ・名前の意味を聞いたり言ったりできるようになる。
第 2 回	単元名	《Unit1②》 Introductions
提出期限 7 月 15 日	概要	【Lesson 2 Hello, Friends!】 <表現>許可を求める・与える /相手について尋ねる・答える /リストアップする<文法>助動詞 (may) /疑問詞を用いた疑問文 /too と either の使い分け ・インタビューの際に必要な表現を使うことができるようになる。 ・出身地を聞いたり言ったりできるようになる。 ・他人紹介の流れを理解する。
第 3 回	単元名	《Unit 2》 My Interests
提出期限 8 月 15 日	概要	【Lesson 3 My Favorite Music】 <表現>意見を言う /リストアップする /<文法>What+名詞 を用いた疑問文 /存在を表す there is[are]~の構文 /助動詞 (can) /楽器名の前につく定冠詞 /平叙文の語順での疑問文 【Lesson 4 What Are You Crazy about?】 <表現>リストアップする /興味・関心を伝える /誘う・誘いを断る /<文法>現在進行形 /助動詞 (would / might) /be going to do ・音楽・楽器に関して表現できるようになる。 ・好きな音楽分野などを聞いたり言ったりできるようになる。 ・自分が興味を持っていることに関して表現できるようになる。 ・学んだ表現を使って、だれかを誘う活動を行うことができるようになる。 ・自分が好きなものについて理由をあげて説明することができるようになる。
第 4 回	単元名	《Unit 3》 Food & Health
提出期限 10 月 15 日	概要	【Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner】 助動詞 may の用法 /主語の省略と命令文 /所有代名詞 mine /否定詞 not を含んだ疑問文 Isn't it~? 【Lesson 6 Are You All Right?】 助動詞 should の用法 /現在進行形 (未来) /命令文 ・許可を求めたり、許可をしたり、拒否したりすることができるようになる。 ・プロセスを説明するディスコースマーカーを聞き取り、手順の概要をつかむことができるようになる。 ・同情を表現することができるようになる。 ・テレビの CM でのサプリメントの宣伝の概要を聞き取ることができるようになる。

第5回	単元名	《Unit 4》 My Beautiful Community
提出期限 11月15日	概要	<p>【Lesson 7 Talking about Our Town】 時間と距離・方角に関する it の用法 / 歴史年号の読み方 / 助動詞 could の用法</p> <p>【Lesson 8 Traditional Culture】 同格の(,)の用法 / 疑問文における省略 / 未来を表す現在進行形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の位置について（距離・方角）描写することができるようになる。 ・場所の特徴を描写することができるようになる。 ・町を紹介するスピーチを聞き取り、ストーリーの概要をつかむことができるようになる。 ・予定について聞いたり話したりできるようになる。 ・習慣や伝統に関する対話を聞き取り、話の流れと概要をつかむことができるようになる。
第6回	単元名	《Unit 5》 Future
提出期限 12月15日	概要	<p>【Lesson 9 Equal Roles】 to 不定詞 + that 節 / 感嘆文 What a / an ~! / 否定詞 not を含む疑問文（復習） Why don't you ~?</p> <p>【Lesson 10 Helping Each Other】 動名詞主語 / (I guess) buying their products creates ... / What is ~ like?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観をはっきりと表現することができるようになる。 ・様々な意見を聞き分け、自分の意見との類似性および相違性を相対的に考えることができるようになる。 ・返事プラスワンで質問に答えることができるようになる。 ・スピーチを聞き取り、話の流れと概要をつかむことができるようになる。

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit 1》 Sakura's Adventure Episode 1 At Immigration (pp.20-22) ・2コマ目：《Unit 2》 Sakura's Adventure Episode 2 How about Going Shopping? (pp.38-40) <p>【9月～10月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit 3》 Sakura's Adventure Episode 3 At a Restaurant (pp.56-58) ・2コマ目：《Unit 4》 Sakura's Adventure Episode 4 Getting Lost (pp.74-77) <p>【11月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit 2》 Lesson3 My Favorite Music Dialog (pp.26~pp.27) ・2コマ目：《Unit 4》 Lesson7 Talking about Our Town Dialog (pp.62~pp.63) <p>【12～3月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit 3》 Lesson6 Are You All Right? Dialog (pp.50~pp.51) ・2コマ目：《Unit 5》 Helping Each Other Dialog (pp.88~pp.89) <p>【オンライン授業実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：Lesson 4 WHAT ARE YOU CRAZY ABOUT? ・2コマ目：Lesson 9 Equal roles <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する</p> <p>【知識・理解】 英語を通じて、文化に対する理解を深める</p> <p>【思考・判断・表現】 情報や考えを的確に理解し、伝える能力を養う</p>
--

「家庭基礎」 1 学年 年間学習指導計画

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。</p> <p>②学習した知識や技術を活用し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。</p> <p>③家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>
------	---

教科書	東京書籍「家庭基礎」(家基 311)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間4回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第1回	単元名 自分らしい人生をつくる/子どもと共に育つ
提出期限 7月15日	概要 生涯発達の視点/青年期の課題/目標を持って生きる/人生をつくる/家族・家庭を見つめる/これからの家庭生活と社会/子どもの育つ力を知る/親として共に育つ/子どもとの触れ合いから学ぶ/これからの保育環境 ○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つけ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解する。 ○男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解し、家庭生活の在り方について考える。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握する。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ○子どもの育つ力と発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わり大切さを学ぶ。 ○遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 ○子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。
第2回	単元名 高齢社会を生きる/共に生き、共に支える
提出期限 9月15日	概要 高齢期を理解する/高齢者の心身の特徴/これからの高齢社会/私たちの生活と福祉/社会保障の考え方/共に生きる/地域の防災力を高めよう ○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。 ○身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。 ○一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。 ○社会保障制度の理念と内容を理解する。 ○多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解している。 ○地域の防災力を高める意義と方法を考える。
第3回	単元名 食生活をつくる/衣生活をつくる

提出期限 11月15日	概要	食生活について考える/食事と栄養・食品/食生活の安全と衛生/生涯の健康を見通した食事計画/調理の基礎/これからの食生活・日本の伝統的な食文化/被服の役割を考える/被服を入手する/被服を管理する/これからの衣生活/布を用いた生活の知恵 ○青年期の食生活の課題/「食べる」とは/食生活の課題/食生活の変化/生涯の健康と食事/栄養と栄養素/炭水化物/脂質/たんぱく質/無機質/ビタミン/その他の食品/食品の選択と保存/食生活の衛生と安全/栄養バランスのよい食事/食事計画/調理法と味のバランス/食事の場面を考えた調理/調理実習の基本/食料生産と食料問題/食の安全性の確保/環境負荷の少ない食生活/持続可能な食生活を営む力/日本の伝統的な食文化/高校生と衣生活/着るとは/被服の役割/被服の保健衛生的機能/被服の社会的機能/被服の入手/被服と表示/被服の材料/被服材料の性能/被服材料の性能の改善/被服の手入れ/洗濯、漂白/仕上げ、保管/資源としての衣服/衣料品の再資源化/衣生活と環境/全ての人を楽しめる衣生活/
第4回	単元名	住生活をつくる/経済生活を営む/生活を設計する
提出期限 12月15日	概要	住生活について考える/住生活の計画と選択/これからの住生活/職業生活を設計する/計画的に使う/国民経済・国際経済と家庭の経済生活/現代の消費社会/消費者の権利と責任/これからの消費生活と環境/生涯を見通す ○住居の機能と変化/平面図を理解する/住居の計画/安全で快適な住生活/健康な住生活/誰もが住みやすい住居/持続可能な住居/社会環境と住居/経済的に自立する/長期の職業設計/収入と支出を知る/家計のマネジメント/契約と契約トラブル/消費者をめぐる問題/よりよい地球環境に向けて/消費者としてできること/生活設計とは/自立し共に生きるために/これからの社会を創造する

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】第1章自分らしい人生をつくる・第9章生活を設計する 【9月～10月実施】第3章高齢社会を生きる・第4章共に生き、共に支える 【11月実施】第8章経済生活を営む 【12月～3月実施】第7章住生活をつくる 【オンライン授業実施】第6章衣生活をつくる</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 各分野に関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、自立した生活に向けて、実践的な態度を身につけようとする。</p> <p>【思考・判断】 生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、自分の考えをまとめ判断し、工夫したり創造したりする能力を身につけている。</p> <p>【技能・表現】 課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。また、各分野の生活に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、生活の中で生かそうとする能力が身につけている。</p> <p>【知識・理解】 各分野の地域社会における役割を理解し、生活の充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。</p>

「家庭総合」 3 学年 年間学習指導計画

教科	家庭	科目	家庭総合	単位	4 単位
----	----	----	------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	8 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	3.2 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	160 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。</p> <p>②学習した知識や技術を生かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。</p> <p>③家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>
------	--

教科書	東京書籍「家庭総合」(家総 307)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間8回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	自分らしい人生をつくる
提出期限 6月15日	概要	<p>生涯発達の視点/青年期の課題/目標を持って生きる/人生をつくる/家族・家庭を見つめる/これからの家庭生活と社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つけ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解する。 ○男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解し、家庭生活の在り方について考える。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握する。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。
第2回	単元名	子どもと共に育つ
提出期限 7月15日	概要	<p>命を育む/子どもの育つ力を知る/親として共に育つ/子どもとの触れ合いから学ぶ/これからの保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わり大切さを理解する。 ○遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について知る。 ○子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の在り方について考える。
第3回	単元名	高齢社会を生きる(1)
提出期限 8月15日	概要	<p>高齢期を理解する/高齢者の心身の特徴/高齢者を支える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。
第4回	単元名	高齢社会を生きる(2)/共に生き、共に支える
提出期限 9月15日	概要	<p>高齢期を理解する/高齢者の心身の特徴/高齢者を支える/共に生きる 誰もが暮らしやすい社会を目指して—ユニバーサルデザイン—地域の防災力を高めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢社会の現状と課題を理解する。

		<ul style="list-style-type: none"> ○高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○社会保障制度の理念と内容を理解する。 ○多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解している。 ○地域の防災力を高める意義と方法を考える。
第5回	単元名	経済生活を営む
提出期限 10月15日	概要	<p>職業生活を設計する/計画的に使う/国民経済・国際経済と家庭の経済生活/現代の消費社会/消費者の権利と責任/これからの消費生活と環境</p> <p>○自立した生活のための意思決定/経済的に自立する/長期の職業設計/収入と支出を知る/家計のマネジメント/契約と契約トラブル/商品の販売方法/多様化する支払い方法/消費者をめぐる問題/よりよい地球環境に向けて/消費生活と地球環境/消費者としてできること</p>
第6回	単元名	食生活をつくる
提出期限 11月15日	概要	<p>食生活について考える/食事と栄養・食品/食生活の安全と衛生/生涯の健康を見通した食事計画/調理の基礎/食生活の文化と知恵/これからの食生活</p> <p>○青年期の食生活の課題/「食べる」とは/食生活の課題/食生活の変化/生涯の健康と食事/栄養と栄養素/炭水化物/脂質/たんぱく質/無機質/ビタミン/その他の食品/食品の選択と保存/食生活の衛生と安全/栄養バランスのよい食事/食事計画/調理法と味のバランス/食事の場面を考えた調理/調理実習の基本/日本の食文化/世界の食文化/食料生産と食料問題/食の安全性の確保/環境負荷の少ない食生活/持続可能な食生活を営む力</p>
第7回	単元名	衣生活をつくる
提出期限 11月15日	概要	<p>被服の役割を考える/被服を入手する/被服を管理する/被服を作る/衣生活の文化と知恵/これからの衣生活</p> <p>○高校生と衣生活/着るとは/被服の役割/被服の保健衛生的機能/被服の社会的機能/被服の入手/被服と表示/被服の材料/被服材料の性能/被服材料の性能の改善/被服の手入れ/洗濯、漂白/仕上げ、保管/被服の構成/採寸/被服製作の工程/被服製作の基本/被服製作例/生活文化と被服/繰り返し知恵/資源としての衣服/衣料品の再資源化/衣生活と環境/全ての人が楽しめる衣生活</p>
第8回	単元名	住生活をつくる/生活を設計する
提出期限 12月15日	概要	<p>住生活について考える/住生活の計画と選択/住生活の文化と知恵/これからの住生活/生涯を見通す</p> <p>○住居の機能と変化/平面図を理解する/住居の計画/誰もが住みやすい住居/安全で快適な住生活/健康な住生活/住居の維持と管理/気候風土に応じた住居/伝統的な日本の住居の工夫/さまざまな住様式/持続可能な住居/社会環境と住居/生活設計とは/自立し共に生きるために/これからの社会を創造する</p>

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】第1章 自分らしい人生をつくる</p> <p>【9月～10月実施】第2章 子どもと共に育つ</p> <p>【11月実施】第7章 衣生活をつくる</p> <p>【12月～3月実施】第6章 食生活をつくる</p> <p>【オンライン授業実施】第5章 経済生活を営む</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>各分野に関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、自立した生活に向けて、実践的な態度を身につけようとする。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、自分の考えをまとめ判断し、工夫したり創造したりする能力を身につけている。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。また、各分野の生活に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、生活の中で生かそうとする能力が身につけている。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>各分野の地域社会における役割を理解し、生活の充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。</p>

「社会と情報」 2 学年 年間学習指導計画

教科	情報	科目	社会と情報	単位	2 単位
----	----	----	-------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	<p>①大量の情報の中から自分に必要な情報を選択する力（情報収集・選択能力）を養う。</p> <p>②情報の真偽を見抜く力（情報の評価、判断力）を養う。</p> <p>③情報のメカニズムを知り、情報を的確に処理する力（分析・処理能力）を養う。</p> <p>④結果を新しい情報の創造や行動力に結び付ける力（創造力、発信・伝達能力）を養う。</p>
------	---

教科書	東京書籍「社会と情報」（情 310）
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 4 回）、試験（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	情報を活用する-私たちを取り巻く情報
提出期限 7 月 15 日	概要	<p>情報とメディア/信頼できる情報と信頼できない情報/情報の見極め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの種類と特徴を理解する。 ・情報の信頼性について評価する。 ・メディアリテラシーについて理解する。
第 2 回	単元名	情報を活用する-アナログからデジタルへ/情報の表現と伝達
提出期限 9 月 15 日	概要	<p>情報のデジタル表現/デジタル情報の特徴/情報の表現と伝達の仕組み/伝達や発表のための手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 進法と 2 進法, 16 進法について学ぶ。 ・デジタル表現の種類とその利点・問題点について学ぶ。 ・写真や画像の編集を行う。 ・コンピュータによる情報伝達の特徴と注意点について学ぶ。 ・適切なメディアの選択について学ぶ。 ・情報を整理して、図形などを用いて表現する。
第 3 回	単元名	Explore ネットワークを探索する/Find 情報社会の課題を見つける
提出期限 11 月 15 日	概要	<p>インターネットの仕組み/WWW と電子メール/情報の検索/メディアの発達/多様な情報発信/ネットコミュニケーションの特徴/誰でも表現者・発信者の時代/情報社会の影/情報セキュリティ/情報モラル/情報社会と著作権/個人情報の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや電子メールの仕組みを学ぶ。 ・効率よく情報を検索する方法について学ぶ。 ・メディアの変遷について学ぶ。 ・インターネット上のメディアについて学ぶ。 ・インターネット上のメディアを利用するコミュニケーションの特徴と注意点について学ぶ。 ・情報犯罪や迷惑行為と安全対策について学ぶ。 ・情報社会における望ましい態度について学ぶ。 ・著作権と著作権法について学ぶ。 ・プライバシーと個人情報漏洩の対策について学ぶ。 ・情報モラルについてのパンフレットを作成する。

第4回	単元名	Go 望ましい情報社会に向かう
提出期限 12月15日	概要	<p>情報システムの種類/情報システムの発展と進歩/情報化と社会の変化/情報システムの信頼性/誰もが参加できる情報社会/解決のステップ/実際に解決してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの種類と特徴について学ぶ。 ・情報システムが利用されている事例について学ぶ。 ・情報技術による社会変革について学ぶ。 ・情報システムの問題点とその対策について学ぶ。 ・情報社会の問題点とユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・実際にQRコードを作成してみる。 ・問題解決の手順と情報機器の活用例について学ぶ。 ・ブレインストーミングやKJ法を利用して、問題解決の演習に取り組む。

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>信頼できる情報と信頼できない情報 インターネットの仕組み 情報のデジタル表現 情報モラル ネットコミュニケーションの特徴 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 情報及び、情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を養う。情報社会における個々人の情報モラルやリテラシーに対して関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、情報及び情報技術を活用し、情報社会の発展に寄与しようとする。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。情報化の進展が社会に及ぼす影響や個人の責任などの面から情報社会の特性や在り方を考え、情報通信ネットワーク上のルールやマナー、情報の安全性などに関する基礎的な知識や技能を習得し、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用することが出来る能力と仕組みについて効果的な方法を選択している。</p> <p>【技能】 情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、現代社会における情報の意義や役割を理解させるとともに、情報社会の諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、情報産業と社会の発展を図る創造的実践的な能力を活用している。情報を収集・整理、加工、表現するなどの活動を適切に行うために必要な基礎的な知識と技術を習得し、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用することが出来る能力と仕組みについて理解している。</p> <p>【知識・理解】 情報及び情報技術を問題の発見と解決に活用するための知識を身に付け、情報社会を支える情報と情報技術の役割や影響を理解している。情報の取扱いに関する法規や情報セキュリティの管理などの学習活動を通して、情報社会における情報の必然性や重要性について考察し、多くの危険を理解し適切に扱うことが出来る。情報社会を構成する一員として正しく情報を取り扱うための個人の責任について理解している。</p>
--

「情報の科学」 3 学年 年間学習指導計画

教科	情報	科目	情報の科学	単位	2 単位
----	----	----	-------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	1.6 単位 時間	面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算	80 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	------

学習目標	情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。
------	--

教科書	東京書籍「情報」(情 310)
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導(年間4回)、試験(年間1回)、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	コンピュータの仕組みと働き(1)
提出期限 7月15日	概要	情報のデジタル化/画像と音の表現/コンピュータの構成/処理の仕組み ・アナログとデジタルの違いや情報の単位について理解しよう。 ・文字、数値のデジタル表現について理解し、その変換について考察しよう。 ・画像、音のデジタル化について、その方法や理論を理解しよう。 ・コンピュータのハードウェアとソフトウェアについて、その仕組みを理解しよう。 ・コンピュータの処理の仕組みについて理解しよう。
第2回	単元名	コンピュータの仕組みと働き(2)/情報通信ネットワーク
提出期限 9月15日	概要	論理回路/情報通信ネットワークの構成/インターネットの利用 ・簡単な論理回路について理解しよう。 ・パケット通信やプロトコルについて理解しよう。 ・インターネットの仕組みについて、その基本を理解しよう。 ・WWWについて、そのドメインの仕組みを理解しよう。 ・情報検索に関して、効果的に活用できることを目指そう。 ・HTMLの仕組みについて理解し、それを活用できることを目指そう。 ・電子メールの仕組みについて理解し、そのセキュリティについて考えよう。
第3回	単元名	コンピュータの仕組みと働き(3)/問題解決とコンピュータの活用
提出期限 11月15日	概要	大規模情報の蓄積と管理/データの正規化/問題解決のプロセス/情報の分析/解決方法の考案/解決方法の選択/問題のモデル化/シミュレーションの実行/アルゴリズム/プログラム ・問題をモデル化する方法を学ぶ。 ・大規模情報システムについて学ぶ。 ・バーコードデータを集めてPOSシステムを作る。 ・図書貸し出しデータの処理を行う。 ・データの正規化について学ぶ。 ・身近な事象をモデル化しシミュレーションを行う。 ・表計算ソフトウェアを利用してシミュレーションを行う。 ・表計算ソフトウェアを用いてデータ分析し、モデル化する手順を学ぶ。

		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なプログラムを作成する。 ・フローチャートを用いてアルゴリズムを作る。 ・繰り返しや分岐するプログラムを作成する。 ・アルゴリズムを利用してプログラムを作成する。 ・VBAを使って効率のよいアルゴリズムを作る。 ・問題解決に役立つ概念図を作成する。 ・昔話を参考に文章の構造化を行う。 ・環境問題をテーマにプレゼンテーションを行う。
第4回	単元名	情報社会の科学的な理解
提出期限 12月15日	概要	<p>暮らしの中の情報化/社会の情報化と生活の変化/操作性の向上と情報技術/セキュリティの重要性/安全を脅かす要因と対策/問題解決と情報の評価/情報社会の安全とルール/新たなコミュニティ/情報モラルとマナー/社会の発展に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の発展について学ぶ。 ・情報化が社会にどのような変化をもたらしているか学ぶ。 ・ユニバーサルデザインなど操作性の向上について学ぶ。 ・ネットワーク上の問題について学ぶ。 ・情報社会のマナーとルールについて学ぶ。 ・多様なコミュニケーションの特徴を学ぶ。 ・サイバー空間における人間関係について学ぶ。

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>問題のモデル化 暮らしの中の情報化 情報通信ネットワークの構成 数値と文字の表現 アルゴリズム ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【関心・意欲・態度】 情報及び、情報技術を活用するための知識と技能を定着させ、情報と情報手段に関する科学的な見方や考え方を身に付けさせるとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を養う。コンピュータの仕組みや処理の手順・情報ネットワークなどの情報技術に関する基礎的な知識について関心を持ち、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会の基盤を構成している情報にかかわる知識や技術を科学的な見方・考え方で理解し、習得させるとともに、情報機器等を活用して情報に関する科学的思考力・判断力等を養うなど、社会の情報化の進展に主体的に寄与することができる判断・能力を習得する。情報化の進展が社会に及ぼす影響や個人の責任などの面から情報社会の特性や在り方を考え、情報通信ネットワーク上のルールやマナー、情報の安全性などに関する基礎的な知識や技能を習得し、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付け、適切な行動を行っている。</p> <p>【技能】 情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、現代社会における情報の意義や役割を理解させるとともに、情報社会の諸課題を主体的、合理的かつ倫理観をもって解決し、情報産業と社会の発展を図る創造的実践的な能力を活用している。情報を収集・整理、加工、表現するなどの活動を適切に行うために必要な基礎的な知識と技術を習得し、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用することが出来る能力と仕組みについて効果的な方法を選択している。</p> <p>【知識・理解】 情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための知識を身に付け、情報社会を支える情報と情報技術の役割や影響を理解している。情報の取扱いに関する法規などの学習活動を通して、情報社会における情報の必然性や重要性について理解し、情報社会を構成する一員として正しく情報を取り扱うための個人の責任について理解している。情報技術の面から情報社会について考えさせ、ルールやマナー、情報の安全性の基礎的な知識と技能を習得し、コンピュータによる処理手順の考え方、データの扱い方などを理解する。</p>

「総合的な探究 I」 1 学年 年間学習指導計画

教科	総合学習	科目	総合的な探究 I	単位	1 単位
----	------	----	----------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	1 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.4 単位 時間	面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算	100 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う</p>
------	---

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 1 回）、試験（年間 0 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第 1 回	単元名 情報モラルについて
提出期限 12 月 15 日	<p>概要</p> <p>総合的な探究 I では情報モラルの内容について学習していきます。</p> <p>情報モラルとは「情報社会を生き抜き、健全に発展させていく上で、全ての国民が身に付けておくべき考え方や態度」のことを指します。</p> <p>パソコンやスマートフォン等の普及は、情報化を急速に進め、私たちの生活と切り離せないものとなっています。便利になった一方で、不適切な発言から炎上したり、ネット上でのトラブルが事件に発展する等、影の部分も見えています。このような問題を回避するために、情報を正しく判断する能力である「情報モラル」に対する知識が求められています。</p> <p>これらは、全てパソコンやインターネットなどの技術のせいではなく、それら技術を使いこなす私たち一人一人のモラルと良識が問われているのです。モラルとは「道徳、倫理」の意味であり、良識とは「ものごとを正しく判断する能力」のことです。</p> <p>この学習を通して日常的にモラルや良識を心がけ、パソコンやインターネットを効果的に活用し、恩恵を被れるようにしましょう。</p>

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4 月～8 月実施】第 1 章 自分らしい人生をつくる・第 9 章 生活を設計する</p> <p>【9 月～10 月実施】第 3 章 高齢社会を生きる・第 4 章 共に生き、共に支える</p> <p>【11 月実施】第 8 章 経済生活を営む</p> <p>【12 月～3 月実施】第 7 章 住生活をつくる</p> <p>【オンライン授業実施】第 6 章 衣生活をつくる</p> <p>※上記から 2 通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p>
--

【思考・判断・表現】

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に学習に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

「総合的な探究Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

教科	総合探求	科目	総合的な探究Ⅱ	単位	1 単位
----	------	----	---------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	1 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.4 単位 時間	面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算	100 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う</p>
------	---

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 1 回）、試験（年間 0 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要				
第 1 回	<table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>進路選択の考え方</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>学習全般を通して、社会と自己との関わりを実感し、社会と主体的に関わるために自分たちに何ができるか、何をしたいか、何をすべきかを意識させ、学習に主体的に取り組む態度を育てる。進路実現に向けた具体的なスケジュール作成に取り組み、これまでの自己の行動や思考の振り返りを通して、将来に向けた学び方やものの考え方を身に付けさせ、論理的思考力の育成を図る。活動の中で、課題の設定や解決に必要な情報を的確に収集し、それをもとに考え、他に発信していくことで情報活用能力や表現力を身に付けさせる。</td> </tr> </table>	単元名	進路選択の考え方	概要	学習全般を通して、社会と自己との関わりを実感し、社会と主体的に関わるために自分たちに何ができるか、何をしたいか、何をすべきかを意識させ、学習に主体的に取り組む態度を育てる。進路実現に向けた具体的なスケジュール作成に取り組み、これまでの自己の行動や思考の振り返りを通して、将来に向けた学び方やものの考え方を身に付けさせ、論理的思考力の育成を図る。活動の中で、課題の設定や解決に必要な情報を的確に収集し、それをもとに考え、他に発信していくことで情報活用能力や表現力を身に付けさせる。
単元名	進路選択の考え方				
概要	学習全般を通して、社会と自己との関わりを実感し、社会と主体的に関わるために自分たちに何ができるか、何をしたいか、何をすべきかを意識させ、学習に主体的に取り組む態度を育てる。進路実現に向けた具体的なスケジュール作成に取り組み、これまでの自己の行動や思考の振り返りを通して、将来に向けた学び方やものの考え方を身に付けさせ、論理的思考力の育成を図る。活動の中で、課題の設定や解決に必要な情報を的確に収集し、それをもとに考え、他に発信していくことで情報活用能力や表現力を身に付けさせる。				
提出期限 12 月 15 日					

面接指導計画

<p>1. 単元名</p> <p>【4 月～8 月実施】合意形成、収束</p> <p>【9 月～10 月実施】合意形成、収束</p> <p>【11 月実施】合意形成、収束</p> <p>【12 月～3 月実施】合意形成、収束</p> <p>【オンライン授業実施】収束</p> <p>※上記から 2 通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン思考について理解し、様々な問題や課題に対し解決のアイデアを出す方法を身につけることができる。 集団の中で自身の意見を他者に正しく伝える方法を身につけることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示された問題や課題に対して、解決に向けてアイデアを提案することができる。 自身の考えや意見を正しく伝えるために伝え方を工夫することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。</p>
--

「総合的な探究Ⅲ」 3 学年 年間学習指導計画

教科	総合探求	科目	総合的な探究Ⅲ	単位	1 単位
----	------	----	---------	----	------

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	1 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	0.4 単位 時間	面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算	100 分
-------------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う</p>
------	---

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 1 回）、試験（年間 0 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第 1 回	単元名 ライフデザインシミュレーション
提出期限 12 月 15 日	概要 20 年間でかかるお金について調べることによって、これから起こるライフイベントへの備えとなり卒業後の生活をイメージする第一歩となります。 この学習を通して、卒業後の自分の生活に関して考え、自分のライフプランを達成するにはどんなプロセスが必要か、どれくらいお金がかかるのかを調べる力を養う。

面接指導計画

<p>1. 単元名 【4 月～8 月実施】情報リテラシー 【9 月～10 月実施】情報リテラシー 【11 月実施】情報リテラシー 【12 月～3 月実施】情報リテラシー 【オンライン授業実施】情報リテラシー ※上記から 2 通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標 【知識・技能】 ・自己分析の仕方を理解した上でワークに取り組むことができる。 ・グループワークから他者との協働の方法を知ることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己分析の結果から高校生活や社会の場でどのように活躍するか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。</p>
--

「特別活動Ⅰ」 1学年 年間学習指導計画

教科	特別活動	科目	特別活動Ⅰ	単位	—
----	------	----	-------	----	---

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1単位時間 50分	10 単位 時間	面接指導時間数 (6割減免後) ※1単位時間 50分	4 単位 時間	面接指導実施 時間数 50分1コマ換算	300分
-----------------------------------	----------------	----------------------------------	---------------	---------------------------	------

学習目標	<p>①ホームルームや学校における生活づくりへの参画 ホームルーム内の組織づくりや役割の自覚 ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。</p> <p>②日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくる。</p>
------	--

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間1回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第1回	単元名 キャリアガイダンス
提出期限 12月15日	概要 特別活動は必修の活動です。高校卒業後の「進路」について考え、映像学習とレポートに取り組んでください。 「特別活動Ⅰ キャリアガイダンス」では、『なぜ進路を考えるのか』という進路を考えるための心構えから『学習法』や『学部紹介』、『インターンシップ』『オープンキャンパス』『留学』『資格』といった幅広い情報を取り扱います。 どの映像授業も一般教養として知っておくべき進路の基本情報ばかりです。 進路選択は情報収集が肝心です。自分がいま決めている進路だけに限定せず、多様な選択肢や可能性を模索しながら知識と情報を収集しましょう。

面接指導計画

1. 単元名
【4月～8月実施】 聴く、話す、受け止め
【4月～8月実施】 観る、話す、アサーション
【4月～8月実施】 アート思考、自分なりのモノの見方
【9月～10月実施】 聴く、話す、受け止め
【9月～10月実施】 観る、話す、アサーション
【9月～10月実施】 コミュニケーションタイプ、自分なりのモノの見方
【11月実施】 聴く、話す、受け止め
【11月実施】 観る、話す、アサーション
【11月実施】 自分の感情の動きに目を向ける、自分なりのモノの見方
【12月～3月実施】 聴く、話す、受け止め

【12月～3月実施】 観る、話す、アサーション

【12月～3月実施】 日常のポジティブな感情に目を向ける、自分なりのモノの見方

【オンライン授業実施】 聴く、アサーション

【オンライン授業実施】 観る

【オンライン授業実施】 価値観、自分なりのモノの見方

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に学習に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

「特別活動Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

教科	特別活動	科目	特別活動Ⅱ	単位	—
----	------	----	-------	----	---

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	10 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算	300 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	---------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①ホームルームや学校における生活づくりへの参画 ホームルーム内の組織づくりや役割の自覚 ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。</p> <p>②日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくる。</p>
------	--

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要	
第 1 回	単元名	進学（大学・短大）志望
提出期限 12 月 15 日	概要	<p>特別活動は必修の活動です。高校卒業後の「進路」について考え、映像学習とレポートに取り組んでください。</p> <p>「特別活動Ⅱ 進学（大学・短大）志望」では進学を志望している生徒を対象に『4 年制大学』『通信制大学』『短期大学』『専門学校』のそれぞれの進学先の特徴や、『オープンキャンパス』『受験方法』『AO 入試』といった学校選びや具体的な受験方法、その他にも進路やキャリアにまつわる内容を取り扱います。</p> <p>どの映像授業も一般教養として知っておくべき進路の基本情報ばかりです。進路選択は情報収集が肝心です。自分がいま決めている進路だけに限定せず、多様な選択肢や可能性を模索しながら知識と情報を収集しましょう。</p>

面接指導計画

1. 単元名
【4 月～8 月実施】アサーション、I メッセージ
【4 月～8 月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義
【4 月～8 月実施】アイデア出しのコツ
【9 月～10 月実施】アサーション、I メッセージ
【9 月～10 月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義
【9 月～10 月実施】アイデア出しのコツ
【11 月実施】アサーション、I メッセージ
【11 月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義
【11 月実施】アイデア出しのコツ
【12 月～3 月実施】アサーション、I メッセージ

【12月～3月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義

【12月～3月実施】アイデア出しのコツ

【オンライン授業実施】アサーション、Iメッセージ

【オンライン授業実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義

【オンライン授業実施】アイデア出しのコツ

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

- ・デザイン思考について理解し、様々な問題や課題に対し解決のアイデアを出す方法を身につけることができる。
- ・集団の中で自身の意見を他者に正しく伝える方法を身につけることができる。

【思考・判断・表現】

- ・提示された問題や課題に対して、解決に向けてアイデアを提案することができる。
- ・自身の考えや意見を正しく伝えるために伝え方を工夫することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。

「特別活動Ⅲ」 3 学年 年間学習指導計画

教科	特別活動	科目	特別活動Ⅲ	単位	—
----	------	----	-------	----	---

面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分	10 単位 時間	面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分	4 単位 時間	面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算	300 分
-------------------------------------	----------------	-------------------------------------	---------------	------------------------------	-------

学習目標	<p>①ホームルームや学校における生活づくりへの参画 ホームルーム内の組織づくりや役割の自覚 ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。</p> <p>②日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくる。</p>
------	--

教科書	
副教材	

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。
評価方法	添削指導（年間 1 回）、面接指導での評価

添削課題	単元名および概要
第 1 回	単元名 進学（大学・短大）志望
提出期限 12 月 15 日	概要 特別活動は必修の活動です。高校卒業後の「進路」について考え、映像学習とレポートに取り組んでください。 「特別活動Ⅲ 進学（大学・短大）志望」では進学を志望している生徒を対象に『スケジュールの立て方』『学習スケジュールの立て方』『学習方法』といった進路実現のための知識や、『大学入試の概要』『受験校決定』といった具体的な受験・選考の情報を取り扱っています。また様々な業界で実際に働く社会人などを講師として招き、業界と仕事についての映像授業も配信しております。 どの映像授業も一般教養として知っておくべき進路の基本情報ばかりです。進路選択は情報収集が肝心です。自分がいま決めている進路だけに限定せず、多様な選択肢や可能性を模索しながら知識と情報を収集しましょう。

面接指導計画

1. 単元名
【4 月～8 月実施】 グランドルール、心理的安全性
【4 月～8 月実施】 ポジティブ感情、ウェルビーイング
【4 月～8 月実施】 質問会議
【9 月～10 月実施】 グランドルール、心理的安全性
【9 月～10 月実施】 強みの概要、強みの効用
【9 月～10 月実施】 質問会議
【11 月実施】 グランドルール、心理的安全性
【11 月実施】 価値観の概要、重要性

【11月実施】質問会議

【12月～3月実施】グラドルール、心理的安全性

【12月～3月実施】興味関心の概要、重要性

【12月～3月実施】質問会議

【オンライン授業実施】グラドルール、心理的安全性

【オンライン授業実施】ポジティブ感情

【オンライン授業実施】強み、価値観、興味関心の掛け算

※上記から2通りを学習する。

3. 単元目標

【知識・技能】

- ・自己分析の仕方を理解した上でワークに取り組むことができる。
- ・グループワークから他者との協働の方法を知ることができる。

【思考・判断・表現】

- ・自己分析の結果から高校生活や社会の場でどのように活躍するか考えることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。